

第11回

# 長崎県の不動産市況動向(DI)に 関するアンケート調査

基準日：令和7年10月1日

公益社団法人 長崎県宅地建物取引業協会  
公益社団法人 全日本不動産協会長崎県本部  
公益社団法人 長崎県不動産鑑定士協会

## はじめに

このたび、私共不動産関連3団体は、公益活動の一環として「長崎県不動産市況DI調査」を実施致しました。

当該調査は不動産市場の最前線で業務を行っている不動産業者にアンケートを行い価格・賃料・取引件数・開発案件数・投資利回り・空室率等の動向を調査・分析し、長崎県における不動産市場から見た景況動向を県内外へ広く発信することを目的としております。

当該調査は国土交通省の地価公示、都道府県の地価調査等の公的土地価格指標を補完する形で、全国のいくつかの都道府県不動産鑑定士協会等で調査・公表されており、昨今は公的土地価格にはない先行指標を表すものとして市場で重要視されています。また、九州・沖縄各県で統一指標を作成するために当該調査の成果が活用されます。

地方創生や一億総活躍が叫ばれる社会において、長崎県の不動産市場の現状及び先行きを示す当該調査の結果が、皆様の今後の活動のお役に立てることを期待しております。

最後に、本アンケートにご協力頂きました不動産業者の皆様に厚く御礼申し上げます。

公益社団法人	全日本不動産協会長崎県本部
	本部長 田川 良智
公益社団法人	長崎県宅地建物取引業協会
	会長 三上 浩二
公益社団法人	長崎県不動産鑑定士協会
	会長 堺 賢作

令和8年3月19日

## もくじ

I. 調査の概要	1
1. DIについて	1
2. 調査基準日	1
3. 調査方法	1
4. 地域区分	1
5. 年間投資利回り（問6）及び空室率（問7）について	2
6. 表の見方	2
7. 連絡・お問い合わせ先	3
II. 調査結果	4
1. 調査結果の概要	4
(1) 総括（長崎県全体）	4
(2) 地域別	5
2. 調査結果の詳細	7
問1. 事業所・支店の主な営業地域（取扱いが特に多い地域）	7
問2. 現在（令和7年10月1日）の価格及び賃料の動向の実感	8
問3. 1年後（令和8年10月1日）の価格及び賃料の動向の予測	14
問4. 現在（令和7年10月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数の実感	20
問5. 1年後（令和8年10月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数の予測	23
問6. 築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの年間投資利回り	26
問7. 築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの空室率	27
今回ご協力頂いた事業所一覧	28
自由意見欄	30
《附属資料》 アンケート調査票	

## I. 調査の概要

### 1. DIについて

DI (Diffusion Index) は市況や景気動向について定性的な意見を集計し、上昇・下降または拡大・縮小の傾向を示す指数です。景気動向指数とも言われ、不動産市場における景況感を客観的数値で表すことが可能となります。DI がプラスであれば市況改善、DI がマイナスであれば市況悪化を示すといわれています。

本調査では不動産市場に関する現在の「実感」と将来「予測」について4個の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数に基づき、次式にて算出しました。

$$DI = \frac{\text{「上昇 (増加)」回答数} - \text{「下落 (減少)」回答数}}{\text{「不明」を除く総回答数}} \times 100$$

(「横ばい」回答の場合は上記の分母である総回答数には含まれるが、分子に含まない。)

#### 【計算例】

上昇の回答数 100

横ばいの回答数 60

下落の回答数 30

不明の回答数 10

$$DI = \frac{\text{「上昇」回答数}(100) - \text{「下落」回答数}(30)}{\text{「不明」を除く総回答数}(100+60+30)} \times 100 \doteq 36.8$$

### 2. 調査基準日

令和7年10月1日

### 3. 調査方法

- (1) 調査対象：長崎県に本社または営業拠点を有する不動産業者 1,137社  
(長崎県宅地建物取引業協会会員及び全日本不動産協会長崎県本部会員)
- (2) 調査方法：郵送およびファクシミリによる調査票の送付
- (3) 回答方法：ファクシミリ
- (4) 回答率：28.3% (有効回答数 322)

### 4. 地域区分

長崎県を下記の6つの地域に区分し、各事業者の主な営業地域(最も取扱件数の多い地域)ごとに集計しました。

- ① 長崎地区(長崎市・長与町・時津町)
- ② 佐世保・県北・西海・東彼杵郡地区(佐世保市・平戸市・松浦市・西海市・東彼杵町・川棚町・波佐見町・小値賀町・佐々町)

- ③ 諫早地区（諫早市）
- ④ 大村地区（大村市）
- ⑤ 島原地区（島原市・雲仙市・南島原市）
- ⑥ 壱岐・対馬・五島地区（対馬市・壱岐市・五島市・新上五島町）

## 5. 年間投資利回り（問6）及び空室率（問7）について

### (1) 年間投資利回り

不動産投資においては年間の全室入居を前提とした賃料収入総額から運営に係る各種の経費や空室損失を差し引いて得られる純利益を不動産の購入価格で除した投資利回りをもって投資の指標とすることが一般的です。

$$\begin{aligned} \text{年間賃料収入} - \text{修繕費} \cdot \text{維持管理費} \cdot \text{税金} \cdot \text{保険料} \cdot \text{空室損失等} &= \text{純利益} \\ \text{純利益} \div \text{不動産の購入価格} &= \text{年間投資利回り（純利回り）} \end{aligned}$$

上記の年間投資利回り（純利回り）は各不動産の種別・立地条件・築年・維持管理の程度等によって千差万別であり、どのような不動産を想定するかによって水準が大きく異なります。またその算出には精緻な作業が必要となります。

本調査では県内の不動産市場において最も一般的と思われる投資利回りを把握するため、投資用のアパート又はマンションのうち築10年程度で立地条件が地域の標準的なレベルを想定し、各種の経費や空室損失を差し引く前のいわゆる粗利の年間投資利回りを調査対象としました。なお、一般的に投資リスクが低いほど利回りは低くなります。

$$\underline{\text{年間賃料収入} \div \text{不動産の購入価格} = \text{年間投資利回り（粗利回り）}}$$

### (2) 空室率

空室率は全貸室のうちの空室の割合をいいます。投資利回り同様、空室率も不動産ごとの種別・立地条件・築年・維持管理の程度等によって水準が大きく異なるため、本調査では投資用のアパートまたはマンションのうち築10年程度で立地条件が地域の標準的なレベルを想定した空室率を調査対象としました。

$$\underline{\text{空室} \div \text{全貸室} = \text{空室率}}$$

## 6. 表の見方

### (1) 問2～問5

- ① グラフは、「上昇または増加」、「横ばい」、「下落または減少」、「不明」の各構成割合を表します。（注1）
- ② 集計表は、「回答数」、「DI値」を表します。（注2）

注1）回答総数が少ない場合は、極端な構成割合となることがあります。また、見やすさを考慮し整数で表示していますので、合計値が100%にならない場合もあります。

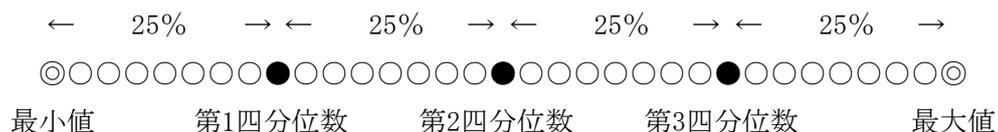
注2）DI値は回答総数が多いほど精度が向上します。グラフと同様に回答総数が少な

い場合においては、極端な数値となることがあります。

(2)問6・問7

回答値の散布状況を四分位数で表しています。四分位数とは各データの値を大きさの順に並べたときに、4等分する位置の値であり、小さい方から順に第1四分位数（第2四分位数より下のゾーンにおける中央値）、第2四分位数（全データにおける中央値）、第3四分位数（第2四分位数より上のゾーンにおける中央値）と定義されます。

【イメージ図】 ○◎●は各データ



7. 連絡・お問い合わせ先

引用、転載等の場合は下記への事前のご連絡をお願い致します。

連絡先
公益社団法人 長崎県不動産鑑定士協会      095-822-3471

## II. 調査結果

### 1. 調査結果の概要

#### (1) 長崎県全体

		前回DI値	今回DI値	増減※	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	38.5	31.9	-6.6	上昇感に落ち着きを実感
	予測	15.3	17.5	-14.4	上昇感に落ち着きを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	-41.5	-40.8	0.7	依然下落を実感
	予測	-45.8	-41.6	-0.8	依然下落を予測
商業地価格	実感	34.0	35.9	1.9	依然上昇を実感
	予測	10.6	16.4	-19.5	上昇感に落ち着きを予測
中古マンション価格	実感	28.0	13.1	-14.9	上昇感に落ち着きを実感
	予測	-0.4	-1.2	-14.3	上昇から転じて下落を予測
住宅賃料	実感	9.8	6.0	-3.8	上昇感に落ち着きを実感
	予測	-1.5	0.0	-6.0	上昇から転じて横ばいを予測
店舗・事務所賃料	実感	-12.2	-13.8	-1.6	依然下落を実感
	予測	-14.3	-12.0	1.8	依然下落を予測

※実感については今回DI値と前回DI値の差、予測については今回予測DI値と今回実感DI値の差

#### 【不動産市況レポート】

住宅地の平坦地価格は、昨年に続いて上昇を実感したが、建築費高騰、金利上昇等の影響を受け減速感が見られた。予測においても上昇が下落を上回っているが、先行き不透明感から上昇は抑えめの予測となった。一方、斜面地価格は実感、予測ともに下落が続いている。

地区別に見ると、実感・予測ともに大村地区が引き続き好調である。諫早地区も前回に引き続いて好調であるが、大型商業施設「ゆめタウン諫早」の開業延長、計画見直し検討が明らかになったことにより、住宅賃料に減速感が見られる。一方で、島原半島や離島地域においては引き続き下落感が強い。斜面地価格はほぼ全ての地域で下落が実感されており、今後も依然として下落傾向が続くと予測される。

商業地では、全体的に依然上昇が実感された。予測においても上昇が下落を上回る結果となったが、物価上昇、金利上昇等による先行き不透明感から抑えめの上昇予測となった。

地区別に見ると、大村地区の上昇感が依然として強い。諫早地区については、前述の「ゆめタウン諫早」の影響により減速感が見られる。長崎地区は上昇を維持しているが、やや落ち着きも見られる。佐世保・県北地区においては概ね昨年同様の上昇感となった。島原半島や離島地域においては依然として下落が実感、予測される結果となった。

中古マンションにおいても物価上昇、金利上昇等の影響が見られるが、特に長崎地区においては分譲マンションの供給過多と相まって、前回の上昇から転じて下落の実感となり、予測においても下落感の強まりが予測された。その他は離島地区・島原地区を除くと全体的に上昇感を維持しているものの、落ち着きが見られる。予測においても、全体的に落ち着きが見られた。

賃料については、住宅系・商業系ともにやはり大村地区で高い上昇実感・予測が見られる。諫早地区は前述のとおり住宅賃料については減速感が見られるが、商業系は上昇感を維持した。その他の地区では住宅系・商業系ともに厳しい状況が続いている。

## (2) 地区別

## ①長崎地区

		前回DI値	今回DI値	増減	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	41.7	25.0	-16.7	上昇感に落ち着きを実感
	予測	17.4	13.2	-11.8	上昇感に落ち着きを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	-67.0	-69.9	-2.9	依然下落を実感
	予測	-69.0	-63.2	6.7	下落感の弱まりを予測
商業地価格	実感	43.5	39.3	-4.2	上昇感に落ち着きを実感
	予測	17.8	19.7	-19.6	上昇感に落ち着きを予測
中古マンション価格	実感	21.2	-1.7	-22.9	上昇から転じて下落を実感
	予測	-10.8	-21.3	-19.6	下落感の強まりを予測
住宅賃料	実感	-12.6	-2.5	10.1	下落感の弱まりを実感
	予測	-18.3	-8.2	-5.7	下落感の強まりを予測
店舗・事務所賃料	実感	-33.3	-32.4	0.9	依然下落を実感
	予測	-35.0	-30.0	2.4	依然下落を予測

## ②佐世保・県北・西海・東彼杵郡地区

		前回DI値	今回DI値	増減	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	26.1	28.3	2.2	依然上昇を実感
	予測	7.9	19.0	-9.3	上昇感に落ち着きを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	-35.5	-38.2	-2.7	依然下落を実感
	予測	-50.9	-44.8	-6.6	下落感の強まりを予測
商業地価格	実感	33.3	32.7	-0.6	依然上昇を実感
	予測	5.6	12.3	-20.4	上昇感に落ち着きを予測
中古マンション価格	実感	35.8	29.8	-6.0	上昇感に落ち着きを実感
	予測	-7.7	22.4	-7.4	上昇感に落ち着きを予測
住宅賃料	実感	-1.7	-1.7	0.0	依然下落を実感
	予測	-8.5	8.2	9.9	下落から転じて上昇を予測
店舗・事務所賃料	実感	-19.3	-18.2	1.1	依然下落を実感
	予測	-21.4	-5.2	13.0	下落感の弱まりを予測

## ③諫早地区

		前回DI値	今回DI値	増減	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	47.8	50.0	2.2	依然上昇を実感
	予測	37.8	40.0	-10.0	上昇感に落ち着きを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	-7.5	-8.3	-0.8	依然下落を実感
	予測	-12.8	-8.0	0.3	依然下落を予測
商業地価格	実感	55.9	40.9	-15.0	上昇感に落ち着きを実感
	予測	25.6	32.0	-8.9	上昇感に落ち着きを予測
中古マンション価格	実感	32.3	26.3	-6.0	上昇感に落ち着きを実感
	予測	18.4	15.4	-10.9	上昇感に落ち着きを予測
住宅賃料	実感	57.1	26.1	-31.0	上昇感に落ち着きを実感
	予測	27.0	15.4	-10.7	上昇感に落ち着きを予測
店舗・事務所賃料	実感	21.2	28.6	7.4	上昇感の高まりを実感
	予測	25.7	26.9	-1.7	依然上昇を予測

## ④大村地区

		前回DI値	今回DI値	増減	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	90.9	82.9	-8.0	上昇感に落ち着きを実感
	予測	41.4	52.5	-30.4	上昇感に落ち着きを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	29.2	30.6	1.4	依然上昇を実感
	予測	11.5	16.2	-14.4	上昇感に落ち着きを予測
商業地価格	実感	60.9	75.9	15.0	上昇感の高まりを実感
	予測	34.8	37.5	-38.4	上昇感に落ち着きを予測
中古マンション価格	実感	55.0	48.0	-7.0	上昇感に落ち着きを実感
	予測	39.1	37.0	-11.0	上昇感に落ち着きを予測
住宅賃料	実感	50.0	45.2	-4.8	上昇感に落ち着きを実感
	予測	48.0	12.5	-32.7	上昇感に落ち着きを予測
店舗・事務所賃料	実感	36.4	46.2	9.8	上昇感の高まりを実感
	予測	37.5	20.7	-25.5	上昇感に落ち着きを予測

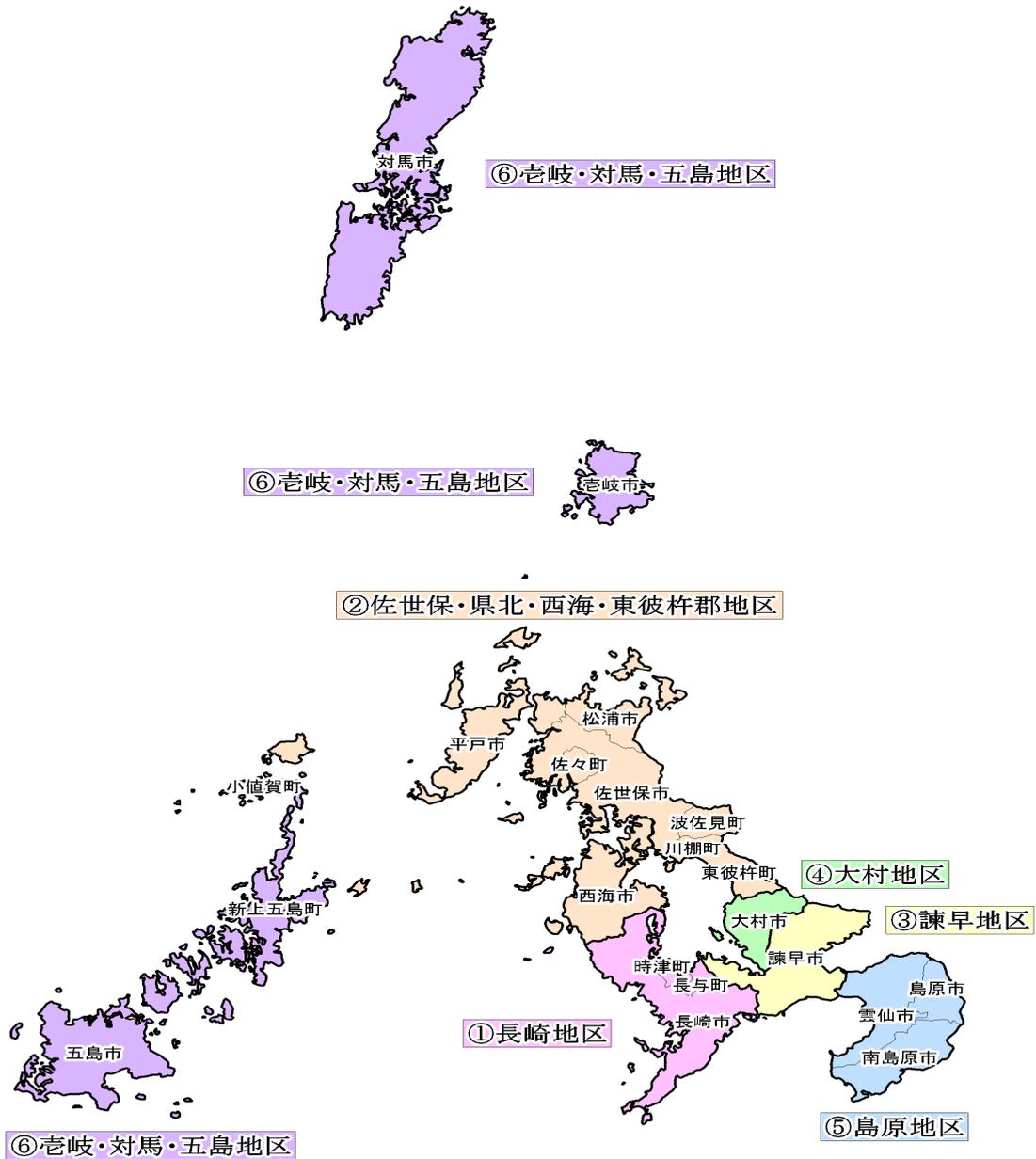
## ⑤島原地区

		前回DI値	今回DI値	増減	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	-13.0	-16.0	-3.0	下落感の強まりを実感
	予測	-22.2	-32.0	-16.0	下落感の強まりを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	-50.0	-33.3	16.7	下落感の弱まりを実感
	予測	-33.3	-40.0	-6.7	下落感の強まりを予測
商業地価格	実感	-36.4	-22.2	14.2	下落感の弱まりを実感
	予測	-36.4	-23.8	-1.6	依然下落を予測
中古マンション価格	実感	0.0	-11.1	-11.1	横ばいから転じて下落を実感
	予測	0.0	-16.7	-5.6	下落感の強まりを予測
住宅賃料	実感	17.9	0.0	-17.9	上昇から転じて横ばいを実感
	予測	-7.7	-8.3	-8.3	横ばいから転じて下落を予測
店舗・事務所賃料	実感	-8.7	-17.4	-8.7	下落感の強まりを実感
	予測	-24.0	-22.7	-5.3	下落感の強まりを予測

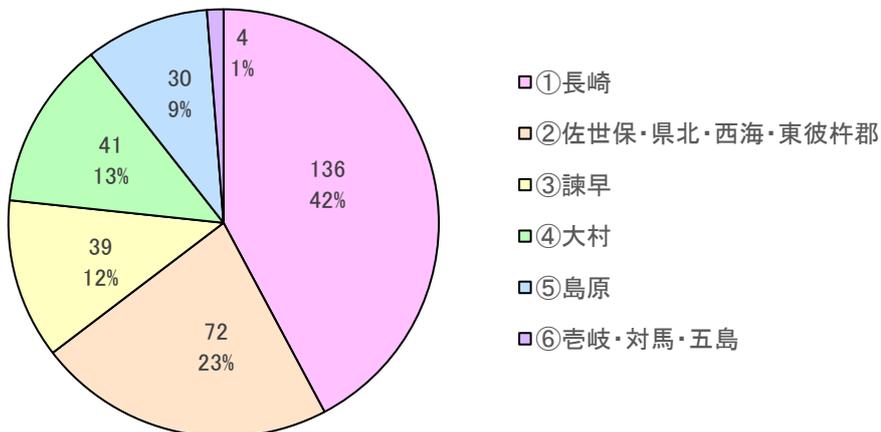
## ⑥宍岐・対馬・五島地区

		前回DI値	今回DI値	増減	コメント
住宅地（平坦地）価格	実感	-28.6	-50.0	-21.4	下落感の強まりを実感
	予測	-44.4	-75.0	-25.0	下落感の強まりを予測
住宅地（斜面地）価格	実感	-77.8	-50.0	27.8	下落感の弱まりを実感
	予測	-55.6	-75.0	-25.0	下落感の強まりを予測
商業地価格	実感	-55.6	-75.0	-19.4	下落感の強まりを実感
	予測	-55.6	-75.0	0.0	依然下落を予測
中古マンション価格	実感	-33.3	-50.0	-16.7	下落感の強まりを実感
	予測	-66.7	-50.0	0.0	依然下落を予測
住宅賃料	実感	44.4	0.0	-44.4	上昇から転じて横ばいを実感
	予測	11.1	-25.0	-25.0	横ばいから転じて下落を予測
店舗・事務所賃料	実感	22.2	-25.0	-47.2	上昇から転じて下落を実感
	予測	0.0	-50.0	-25.0	下落感の強まりを予測

【問1】 最も取扱件数の多い地域はどこでしょうか。



主な営業地域別回答数(322社)

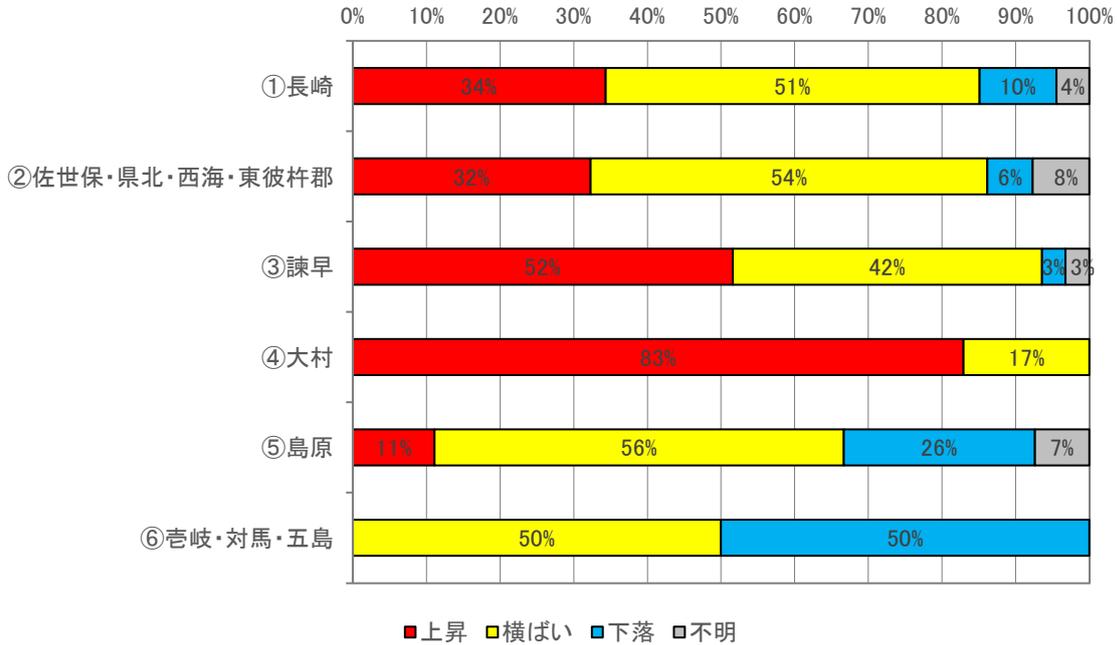


【問2】

現在（令和7年10月1日）の土地価格及び賃料の動向について、1年前（令和6年10月1日）と比較してどのように感じておられますか。

実感

住宅地(平坦地)価格



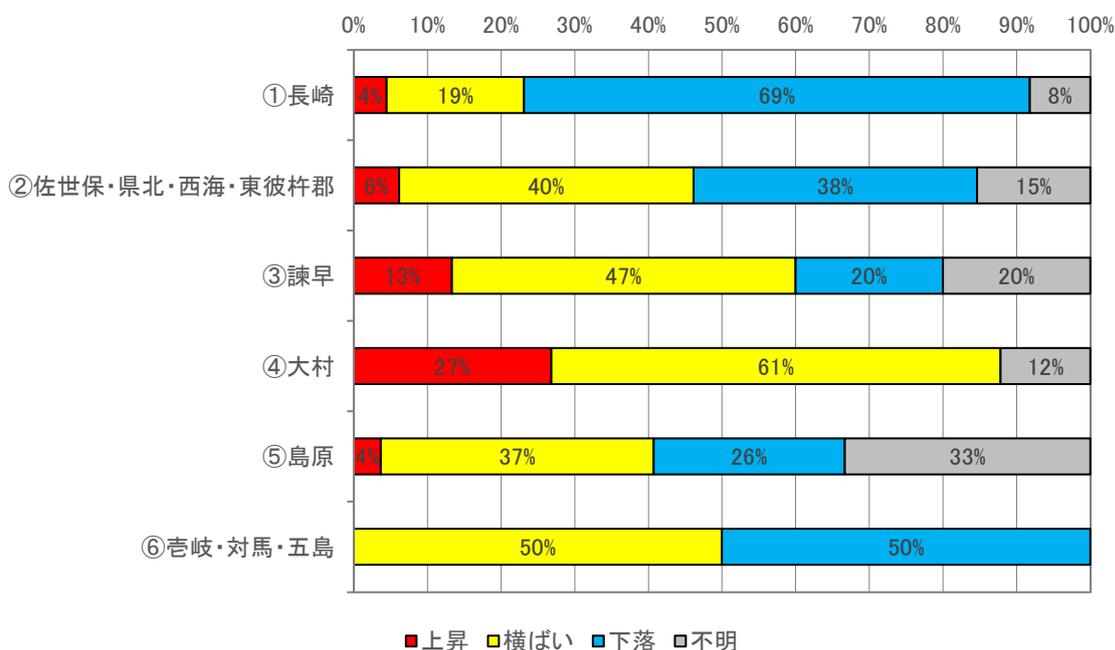
回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	今回DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	46	68	14	6	134	25.0	41.7	-16.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	21	35	4	5	65	28.3	26.1	2.2
③諫早	16	13	1	1	31	50.0	47.8	2.2
④大村	34	7	0	0	41	82.9	90.9	-8.0
⑤島原	3	15	7	2	27	-16.0	-13.0	-3.0
⑥壱岐・対馬・五島	0	2	2	0	4	-50.0	-28.6	-21.4
全体	120	140	28	14	302	31.9	38.5	-6.6

過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	45.1	31.7	25.4	35.9	45.0	41.7	30.8	25.0
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	11.1	16.7	17.3	23.5	33.8	26.1	26.1	28.3
③諫早	20.9	20.0	10.8	30.4	40.0	47.8	60.9	50.0
④大村	65.6	36.4	52.4	71.4	78.9	90.9	86.2	82.9
⑤島原	-37.5	-39.1	-33.3	-29.6	-25.9	-13.0	-19.2	-16.0
⑥壱岐・対馬・五島	-22.2	-25.0	-28.6	-14.3	-44.4	-28.6	-55.6	-50.0

### 住宅地(斜面地)価格



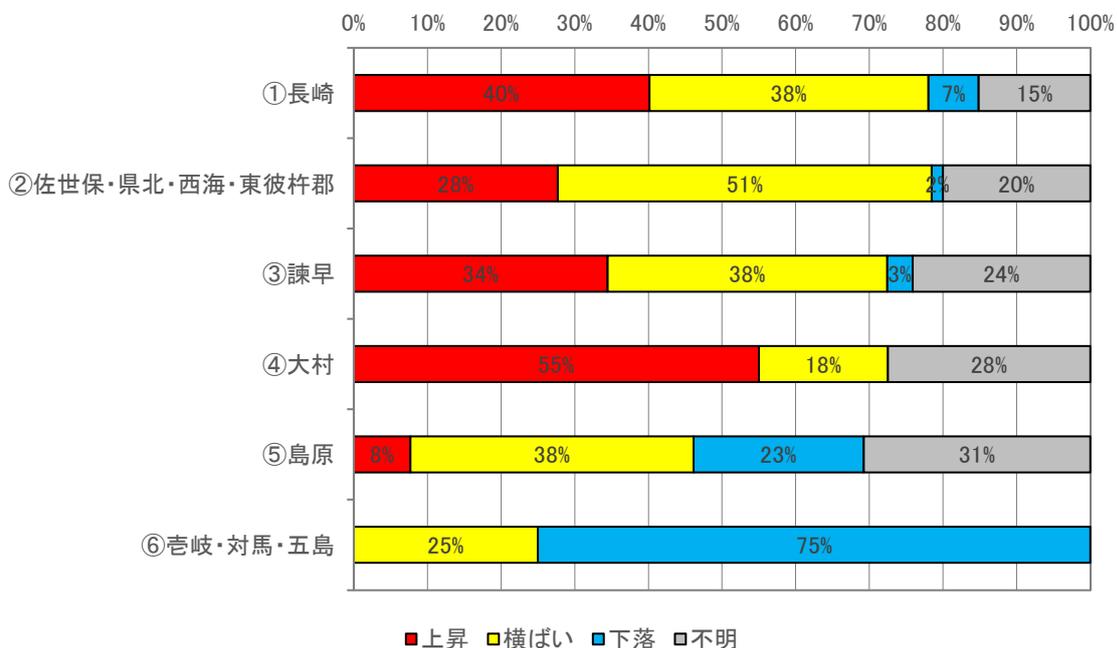
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	6	25	92	11	134	-69.9	-67.0	-2.9
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	4	26	25	10	65	-38.2	-35.5	-2.7
③諫早	4	14	6	6	30	-8.3	-7.5	-0.8
④大村	11	25	0	5	41	30.6	29.2	1.4
⑤島原	1	10	7	9	27	-33.3	-50.0	16.7
⑥壱岐・対馬・五島	0	2	2	0	4	-50.0	-77.8	27.8
全体	26	102	132	41	301	-40.8	-41.5	0.7

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	-68.2	-72.1	-71.7	-67.3	-63.6	-67.0	-67.0	-69.9
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-44.6	-52.0	-52.2	-43.8	-31.0	-36.4	-35.5	-38.2
③諫早	-17.9	-43.6	-47.2	-23.1	-18.8	-5.3	-7.5	-8.3
④大村	0.0	-7.1	11.1	14.7	30.3	25.0	29.2	30.6
⑤島原	-55.6	-72.2	-63.2	-56.3	-42.9	-56.3	-50.0	-33.3
⑥壱岐・対馬・五島	-55.6	-33.3	-40.0	-50.0	-71.4	-50.0	-77.8	-50.0

### 商業地価格



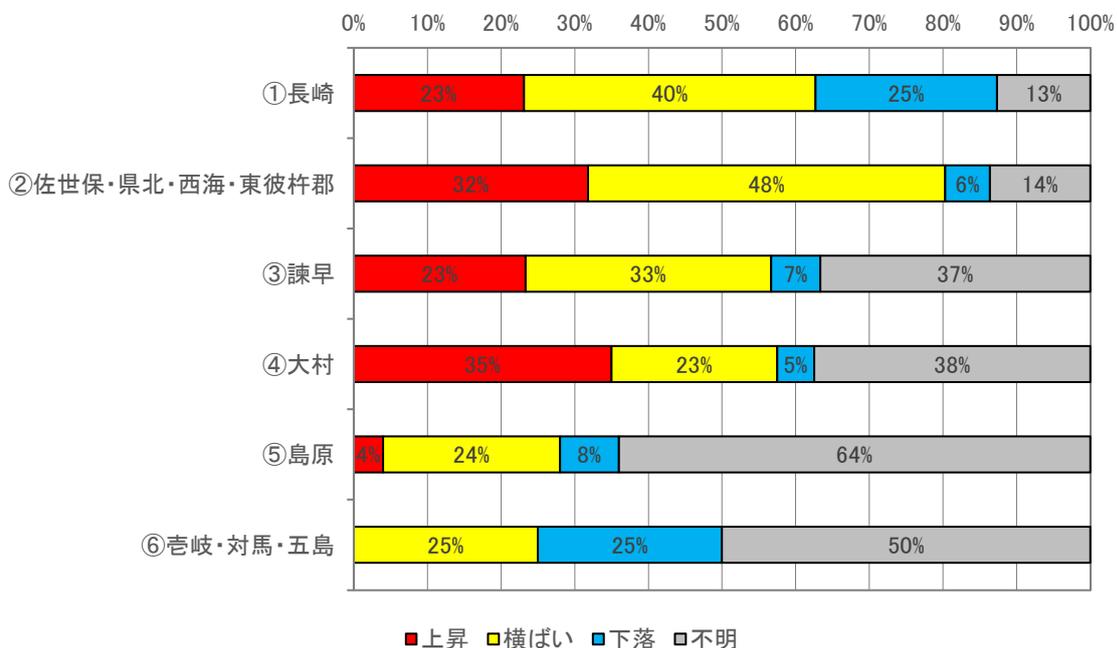
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	53	50	9	20	132	39.3	43.5	-4.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	18	33	1	13	65	32.7	33.3	-0.6
③諫早	10	11	1	7	29	40.9	55.9	-15.0
④大村	22	7	0	11	40	75.9	60.9	15.0
⑤島原	2	10	6	8	26	-22.2	-36.4	14.2
⑥壱岐・対馬・五島	0	1	3	0	4	-75.0	-55.6	-19.4
全体	105	112	20	59	296	35.9	34.0	1.9

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	56.0	33.0	39.4	57.5	60.7	43.5	43.5	39.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	16.7	-4.8	11.1	10.6	24.6	33.3	33.3	32.7
③諫早	10.3	-12.5	17.9	37.9	52.8	55.9	55.9	40.9
④大村	30.8	35.5	36.0	56.7	78.3	60.9	60.9	75.9
⑤島原	-44.4	-57.9	-44.4	-45.5	-31.6	-36.4	-36.4	-22.2
⑥壱岐・対馬・五島	-42.9	-20.0	-33.3	-62.5	-60.0	-55.6	-55.6	-75.0

### 中古マンション価格



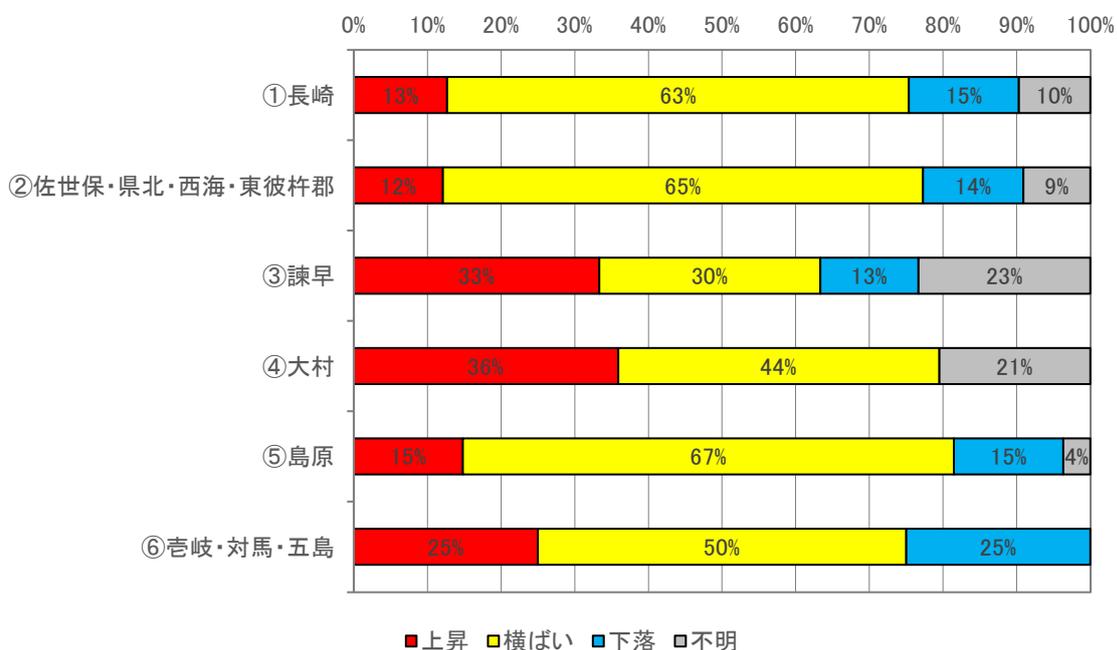
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	31	53	33	17	134	-1.7	21.2	-22.9
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	21	32	4	9	66	29.8	35.8	-6.0
③諫早	7	10	2	11	30	26.3	32.3	-6.0
④大村	14	9	2	15	40	48.0	55.0	-7.0
⑤島原	1	6	2	16	25	-11.1	0.0	-11.1
⑥壱岐・対馬・五島	0	1	1	2	4	-50.0	-33.3	-16.7
全体	74	111	44	70	299	13.1	28.0	-14.9

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	25.0	19.0	25.2	31.7	29.7	27.0	21.2	-1.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	8.1	24.6	24.2	34.6	51.1	40.4	35.8	29.8
③諫早	9.1	5.6	-10.3	18.2	17.4	25.8	32.3	26.3
④大村	34.8	22.2	24.1	50.0	47.8	71.4	55.0	48.0
⑤島原	0.0	-57.1	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-11.1
⑥壱岐・対馬・五島	-66.7	0.0	0.0	-33.3	-50.0	-50.0	-33.3	-50.0

## 住宅賃料



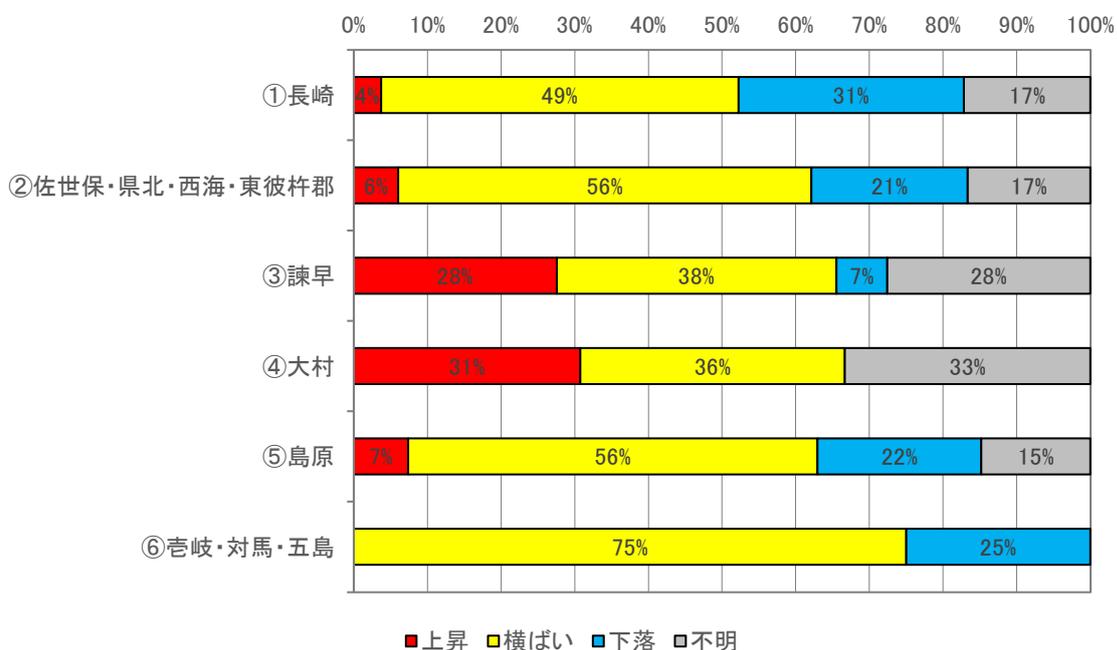
### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	17	84	20	13	134	-2.5	-12.6	10.1
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	8	43	9	6	66	-1.7	-1.7	0.0
③諫早	10	9	4	7	30	26.1	57.1	-31.0
④大村	14	17	0	8	39	45.2	50.0	-4.8
⑤島原	4	18	4	1	27	0.0	17.9	-17.9
⑥壱岐・対馬・五島	1	2	1	0	4	0.0	44.4	-44.4
全体	54	173	38	35	300	6.0	9.8	-3.8

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	-33.1	-38.3	-29.7	-24.8	-18.5	-11.6	-12.6	-2.5
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-19.7	-18.1	-18.8	-16.4	-5.2	0.0	-1.7	-1.7
③諫早	0.0	-17.9	-5.9	10.3	3.2	20.6	57.1	26.1
④大村	9.4	3.6	-2.9	12.5	12.5	37.0	50.0	45.2
⑤島原	-12.5	-13.0	-7.4	0.0	-8.3	-9.1	17.9	0.0
⑥壱岐・対馬・五島	-12.5	12.5	14.3	14.3	-11.1	14.3	44.4	0.0

### 店舗・事務所賃料



### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	5	65	41	23	134	-32.4	-33.3	0.9
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	4	37	14	11	66	-18.2	-19.3	1.1
③諫早	8	11	2	8	29	28.6	21.2	7.4
④大村	12	14	0	13	39	46.2	36.4	9.8
⑤島原	2	15	6	4	27	-17.4	-8.7	-8.7
⑥壱岐・対馬・五島	0	3	1	0	4	-25.0	22.2	-47.2
全体	31	145	64	59	299	-13.8	-12.2	-1.6

### 過去から今回までのDI値推移

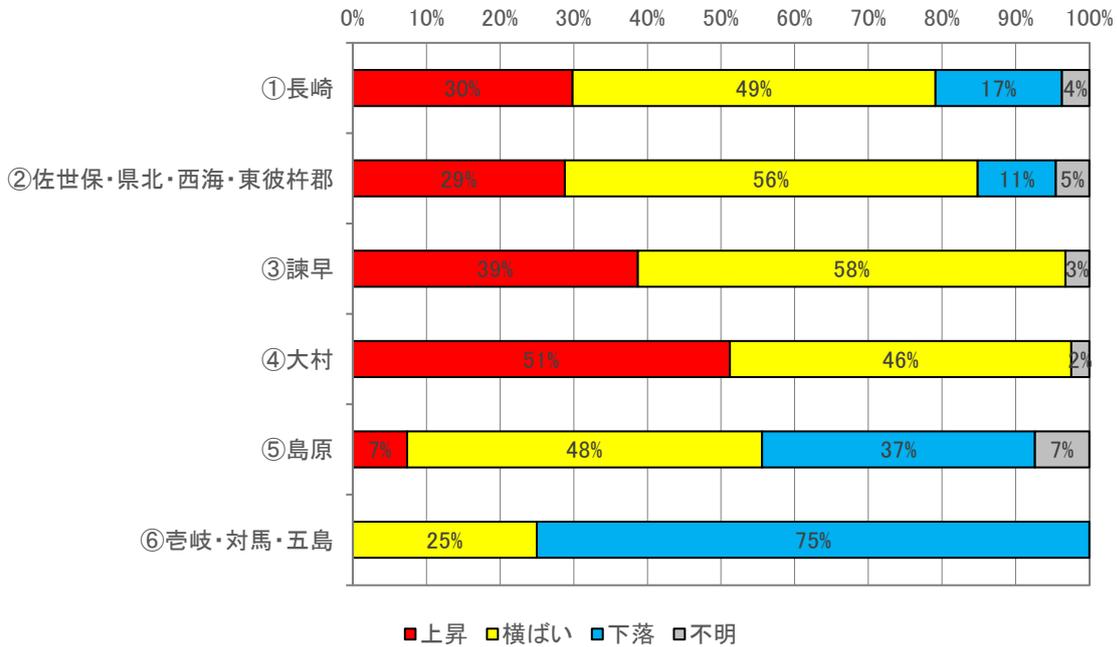
エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	-40.2	-50.0	-60.0	-57.3	-44.7	-49.4	-33.3	-32.4
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-39.1	-28.6	-56.1	-55.2	-20.4	-20.3	-19.3	-18.2
③諫早	-14.3	-27.0	-35.5	-10.5	-12.9	0.0	21.2	28.6
④大村	3.3	7.7	-14.3	-17.4	6.3	36.4	36.4	46.2
⑤島原	-38.1	-55.0	-60.9	-38.1	-45.8	-35.3	-8.7	-17.4
⑥壱岐・対馬・五島	-22.2	-28.6	-33.3	-28.6	-37.5	-28.6	22.2	-25.0

【問3】

1年後（令和8年10月1日）の土地価格及び賃料の動向は、現在（令和7年10月1日）と比較してどうなると予想されますか。

予測

住宅地(平坦地)価格



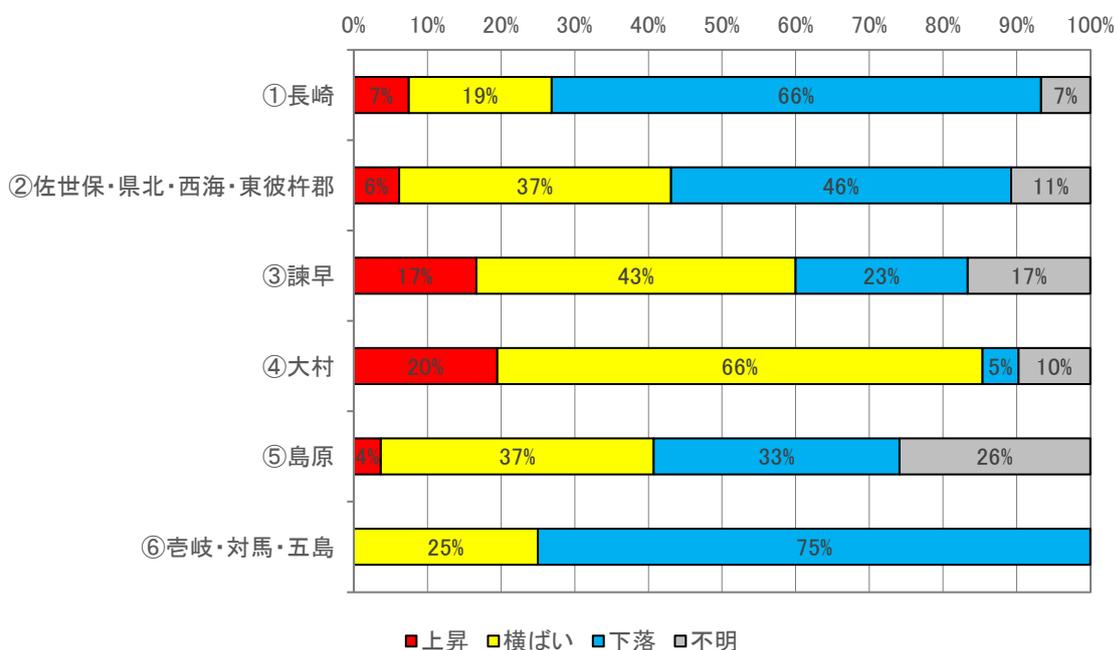
回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	40	66	23	5	134	13.2	17.4	-4.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	19	37	7	3	66	19.0	7.9	11.1
③諫早	12	18	0	1	31	40.0	37.8	2.2
④大村	21	19	0	1	41	52.5	41.4	11.1
⑤島原	2	13	10	2	27	-32.0	-22.2	-9.8
⑥壱岐・対馬・五島	0	1	3	0	4	-75.0	-44.4	-30.6
全体	94	154	43	12	303	17.5	15.3	2.2

過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	33.3	20.7	-1.5	16.8	24.6	25.9	17.4	13.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	17.3	9.1	5.3	9.2	26.2	10.1	7.9	19.0
③諫早	20.0	0.0	-25.7	19.6	37.1	41.3	37.8	40.0
④大村	46.9	26.7	29.3	44.1	58.3	66.7	41.4	52.5
⑤島原	-20.0	-27.3	-42.3	-30.8	-19.2	-34.6	-22.2	-32.0
⑥壱岐・対馬・五島	-44.4	-25.0	-57.1	-28.6	-44.4	-57.1	-44.4	-75.0

### 住宅地(斜面地)価格



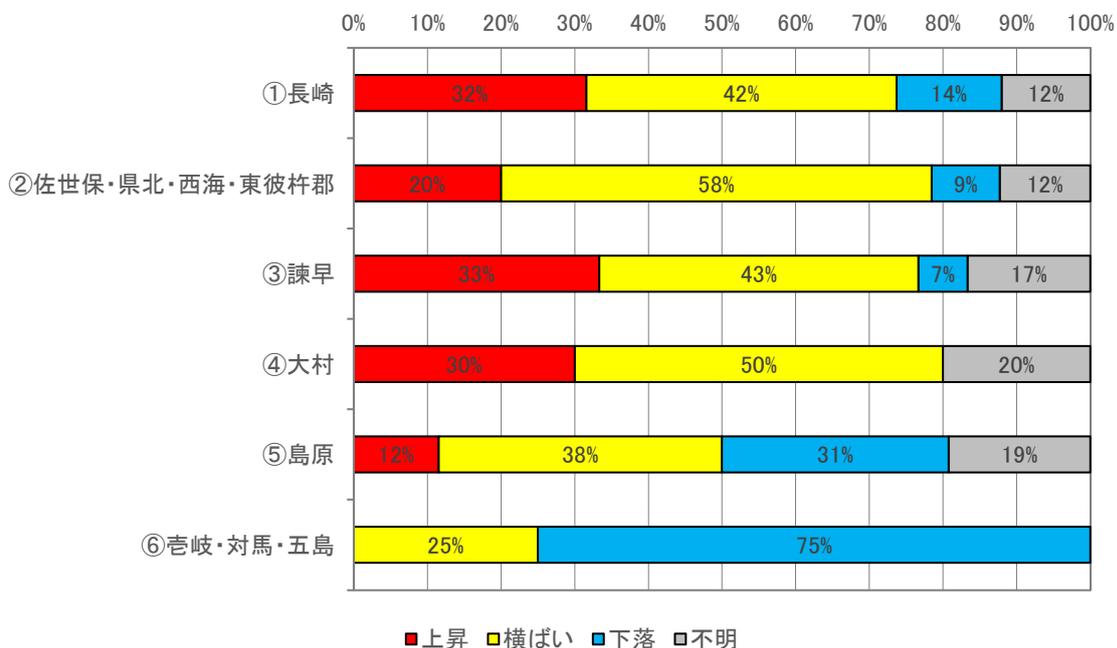
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	10	26	89	9	134	-63.2	-69.0	5.8
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	4	24	30	7	65	-44.8	-50.9	6.1
③諫早	5	13	7	5	30	-8.0	-12.8	4.8
④大村	8	27	2	4	41	16.2	11.5	4.7
⑤島原	1	10	9	7	27	-40.0	-33.3	-6.7
⑥壱岐・対馬・五島	0	1	3	0	4	-75.0	-55.6	-19.4
全体	28	101	140	32	301	-41.6	-45.8	4.2

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	-65.2	-67.6	-74.0	-69.6	-66.4	-69.6	-69.0	-63.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-39.5	-42.7	-63.0	-43.5	-38.3	-44.8	-50.9	-44.8
③諫早	-16.3	-39.0	-65.7	-26.8	-8.8	-15.8	-12.8	-8.0
④大村	3.3	-18.5	-10.8	12.5	12.5	6.7	11.5	16.2
⑤島原	-47.4	-64.7	-60.0	-66.7	-40.9	-47.4	-33.3	-40.0
⑥壱岐・対馬・五島	-66.7	-50.0	-100.0	-80.0	-75.0	-83.3	-55.6	-75.0

### 商業地価格



#### 回答数及びDI値

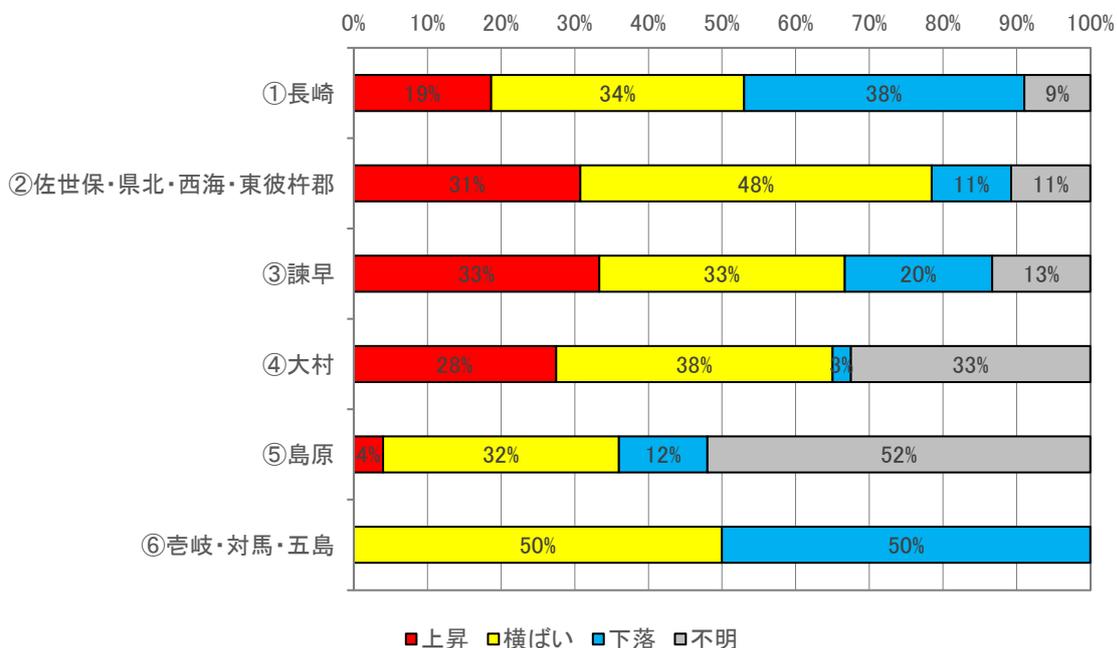
エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	42	56	19	16	133	19.7	17.8	1.9
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	13	38	6	8	65	12.3	5.6	6.7
③諫早	10	13	2	5	30	32.0	25.6	6.4
④大村	12	20	0	8	40	37.5	34.8	2.7
⑤島原	3	10	8	5	26	-23.8	-36.4	12.6
⑥壱岐・対馬・五島	0	1	3	0	4	-75.0	-55.6	-19.4
全体	80	138	38	42	298	16.4	10.6	5.8

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	42.2	31.0	-3.1	16.0	28.7	24.8	17.8	19.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	12.5	4.4	-27.5	1.8	4.1	3.3	5.6	12.3
③諫早	5.3	2.6	-33.3	14.6	25.0	44.4	25.6	32.0
④大村	33.3	22.2	5.7	29.6	42.4	60.0	34.8	37.5
⑤島原	-27.3	-35.3	-59.1	-55.6	-34.8	-38.1	-36.4	-23.8
⑥壱岐・対馬・五島	-55.6	-42.9	-83.3	-42.9	-66.7	-50.0	-55.6	-75.0

予測

## 中古マンション



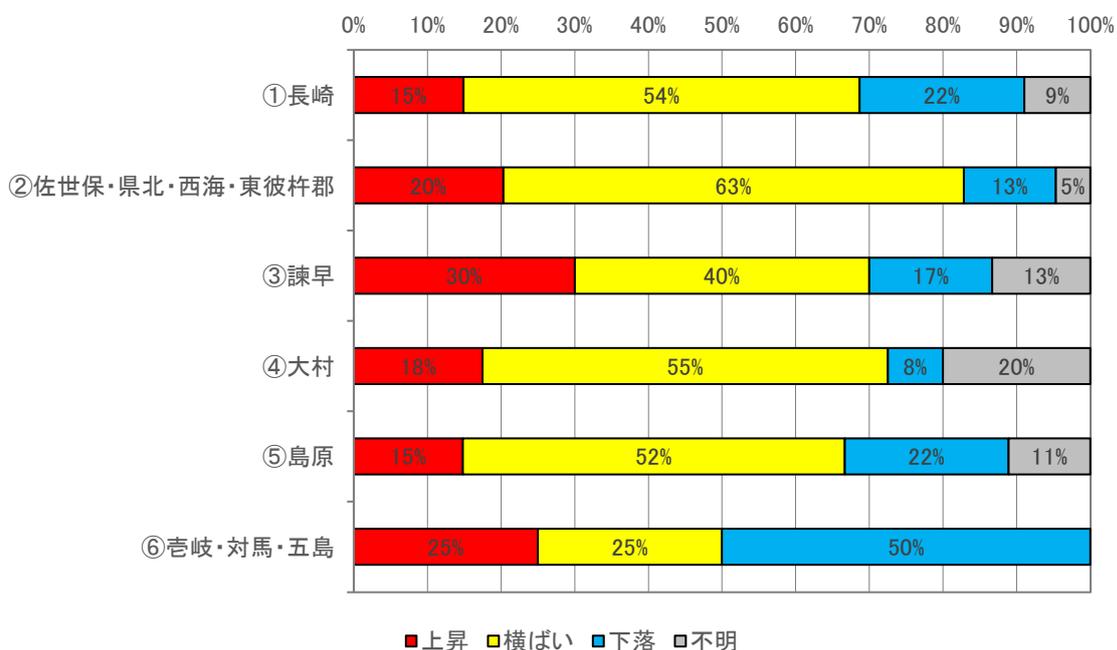
### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	25	46	51	12	134	-21.3	-10.8	-10.5
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	20	31	7	7	65	22.4	-7.7	30.1
③諫早	10	10	6	4	30	15.4	18.4	-3.0
④大村	11	15	1	13	40	37.0	39.1	-2.1
⑤島原	1	8	3	13	25	-16.7	0.0	-16.7
⑥壱岐・対馬・五島	0	2	2	0	4	-50.0	-66.7	16.7
全体	67	112	70	49	298	-1.2	-0.4	-0.8

### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	12.4	-4.7	-17.1	-4.7	-1.6	-10.6	-10.8	-21.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	7.8	9.7	3.1	14.5	19.6	5.1	-7.7	22.4
③諫早	-8.6	-10.8	-27.6	-5.7	14.3	11.4	18.4	15.4
④大村	40.7	12.5	3.4	25.0	46.4	56.5	39.1	37.0
⑤島原	0.0	-33.3	-16.7	-33.3	-12.5	20.0	0.0	-16.7
⑥壱岐・対馬・五島	-50.0	0.0	0.0	-66.7	-66.7	-75.0	-66.7	-50.0

### 住宅賃料



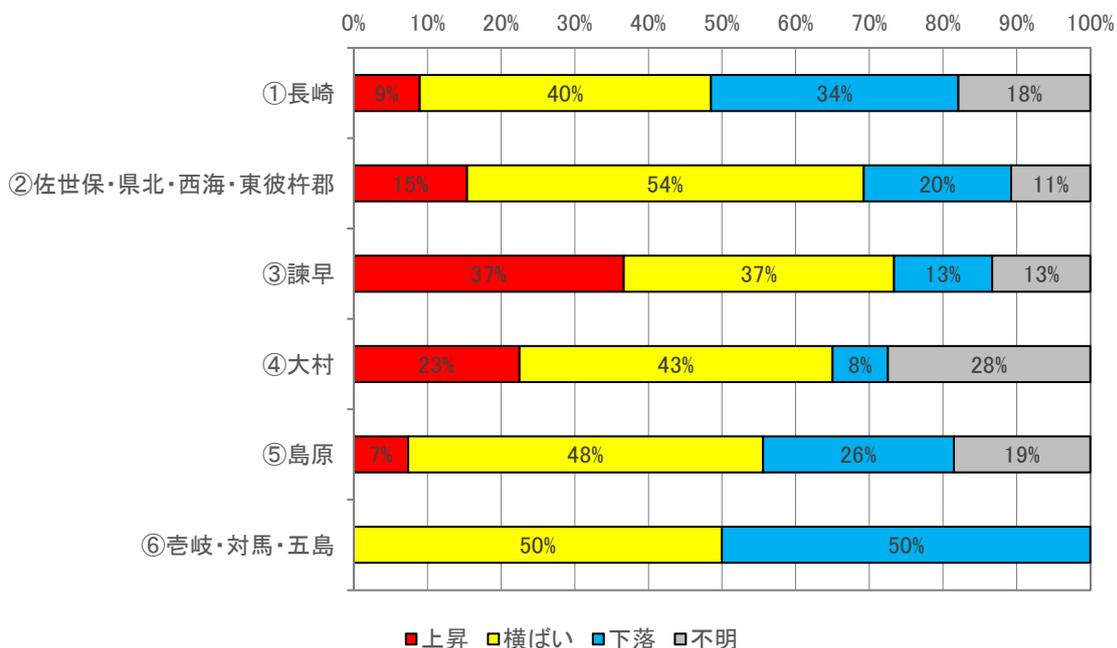
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	20	72	30	12	134	-8.2	-18.3	10.1
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	13	40	8	3	64	8.2	-8.5	16.7
③諫早	9	12	5	4	30	15.4	27.0	-11.6
④大村	7	22	3	8	40	12.5	48.0	-35.5
⑤島原	4	14	6	3	27	-8.3	-7.7	-0.6
⑥壱岐・対馬・五島	1	1	2	0	4	-25.0	11.1	-36.1
全体	54	161	54	30	299	0.0	-1.5	1.5

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	-34.3	-41.7	-41.9	-21.6	-23.1	-9.5	-18.3	-8.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-18.7	-20.8	-40.8	-18.6	6.9	1.5	-8.5	8.2
③諫早	-21.6	-18.4	-33.3	-2.5	0.0	22.2	27.0	15.4
④大村	3.2	-10.7	-18.2	15.4	6.3	34.6	48.0	12.5
⑤島原	-16.7	-27.3	-34.6	-3.8	-17.4	-8.3	-7.7	-8.3
⑥壱岐・対馬・五島	-11.1	-12.5	0.0	0.0	-22.2	0.0	11.1	-25.0

### 店舗・事務所賃料



### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	12	53	45	24	134	-30.0	-35.0	5.0
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	10	35	13	7	65	-5.2	-21.4	16.2
③諫早	11	11	4	4	30	26.9	25.7	1.2
④大村	9	17	3	11	40	20.7	37.5	-16.8
⑤島原	2	13	7	5	27	-22.7	-24.0	1.3
⑥壱岐・対馬・五島	0	2	2	0	4	-50.0	0.0	-50.0
全体	44	131	74	51	300	-12.0	-14.3	2.3

### 過去から今回までのDI値推移

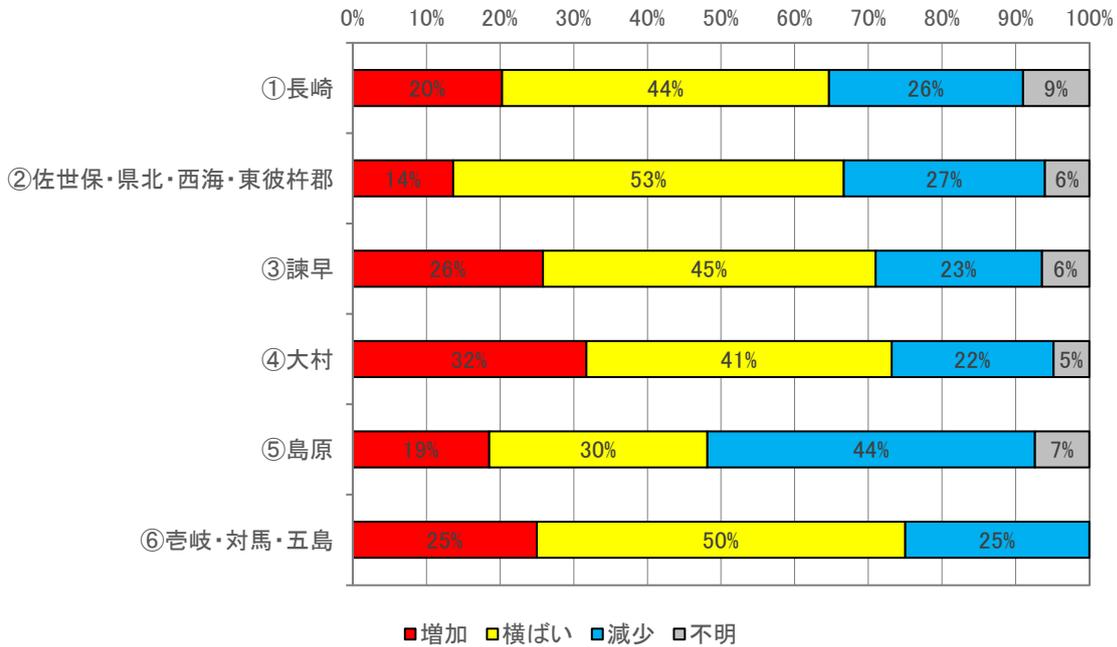
エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	-37.5	-46.7	-68.6	-53.3	-46.0	-37.5	-35.0	-30.0
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-30.0	-26.1	-66.7	-37.9	-14.5	-15.0	-21.4	-5.2
③諫早	-21.6	-17.9	-41.9	-10.8	-9.7	14.3	25.7	26.9
④大村	13.3	-3.8	-25.8	0.0	13.3	30.4	37.5	20.7
⑤島原	-34.8	-52.6	-58.3	-47.8	-39.1	-30.0	-24.0	-22.7
⑥壱岐・対馬・五島	-22.2	-14.3	-83.3	-33.3	-50.0	-28.6	0.0	-50.0

【問4】

現在（令和7年10月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数は、1年前（令和6年10月1日）と比較してどうなっていますか。

実感

住宅地および戸建住宅取引



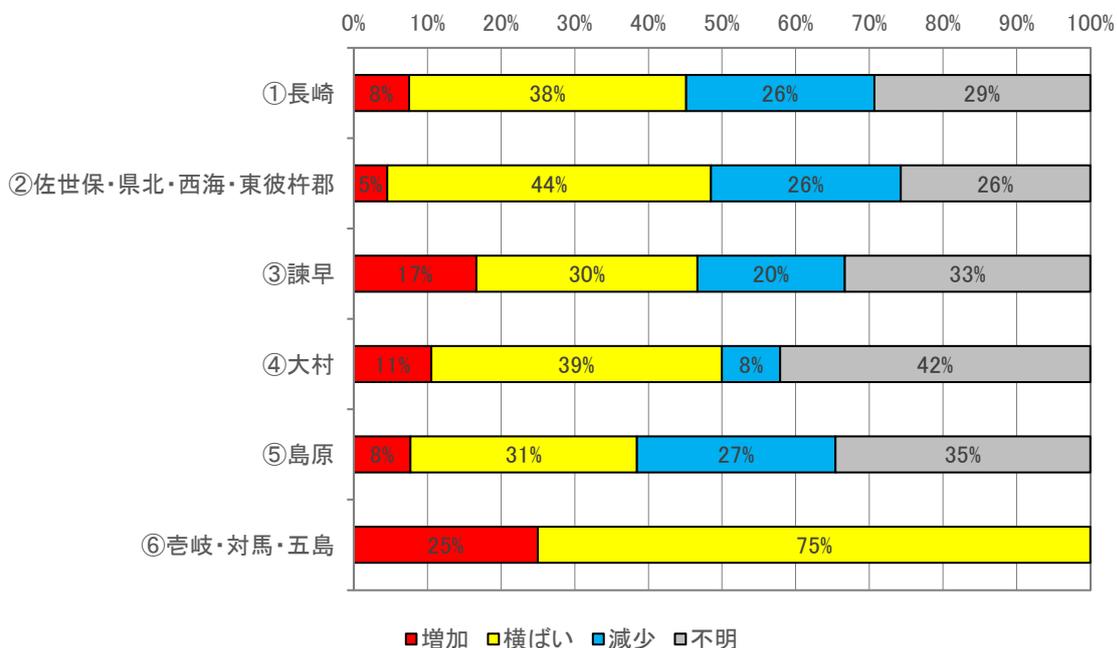
回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数合計	今回DI	前回DI	今回DI-前回DI
①長崎	27	59	35	12	133	-6.6	-14.9	8.3
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	9	35	18	4	66	-14.5	2.9	-17.4
③諫早	8	14	7	2	31	3.4	0.0	3.4
④大村	13	17	9	2	41	10.3	13.8	-3.5
⑤島原	5	8	12	2	27	-28.0	-13.8	-14.2
⑥壱岐・対馬・五島	1	2	1	0	4	0.0	-12.5	12.5
全体	63	135	82	22	302	-6.8	-5.4	-1.4

過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	-11.5	-12.2	-18.5	-12.6	-19.9	-6.7	-14.9	-6.6
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	5.0	5.5	-14.3	-4.5	2.9	-13.7	2.9	-14.5
③諫早	-2.4	-4.5	-5.7	16.3	10.8	19.0	0.0	3.4
④大村	18.8	0.0	0.0	2.9	41.7	18.2	13.8	10.3
⑤島原	-34.6	-20.0	-23.1	-26.9	7.7	-8.3	-13.8	-28.0
⑥壱岐・対馬・五島	22.2	-12.5	12.5	0.0	-33.3	14.3	-12.5	0.0

### 商業地および投資物件取引



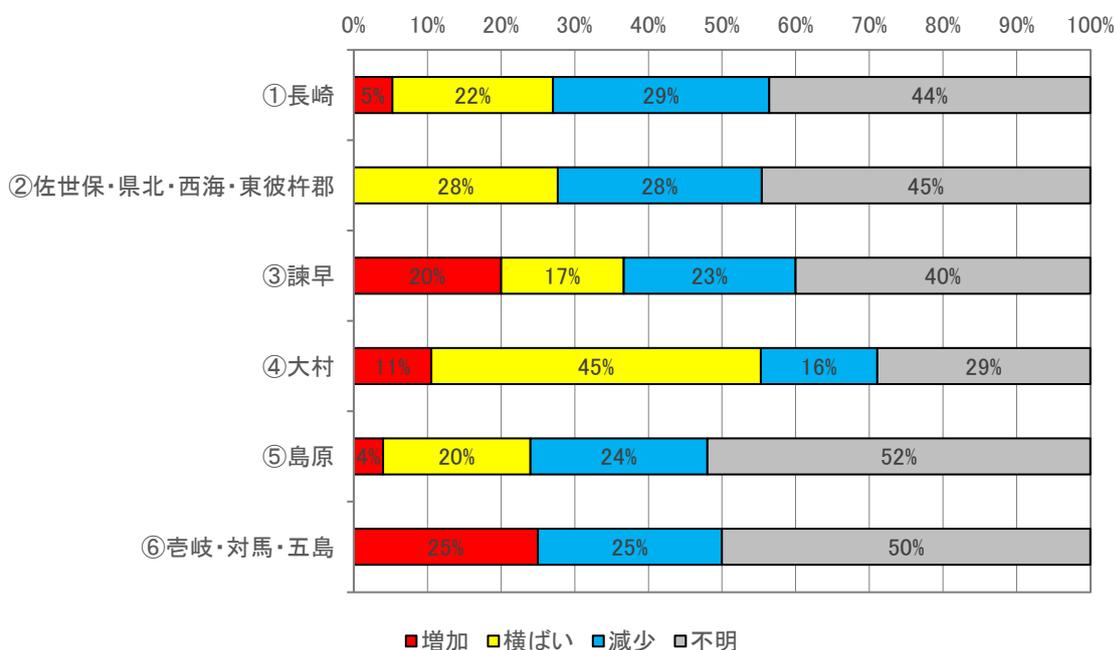
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	10	50	34	39	133	-25.5	-9.8	-15.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	3	29	17	17	66	-28.6	-8.7	-19.9
③諫早	5	9	6	10	30	-5.0	-16.7	11.7
④大村	4	15	3	16	38	4.5	10.0	-5.5
⑤島原	2	8	7	9	26	-29.4	-40.0	10.6
⑥壱岐・対馬・五島	1	3	0	0	4	25.0	-50.0	75.0
全体	25	114	67	91	297	-20.4	-12.6	-7.8

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	-13.5	-39.6	-37.6	-28.1	-23.0	-1.3	-9.8	-25.5
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-33.9	-22.6	-19.0	-28.6	-7.8	-14.8	-8.7	-28.6
③諫早	-3.8	-28.6	-28.0	-3.6	-24.0	10.0	-16.7	-5.0
④大村	-22.7	-20.0	-37.5	-25.0	7.7	19.0	10.0	4.5
⑤島原	-53.3	-58.8	-61.5	-50.0	-26.3	-50.0	-40.0	-29.4
⑥壱岐・対馬・五島	0.0	16.7	-50.0	25.0	-85.7	-16.7	-50.0	25.0

### 分譲地またはマンション開発



#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	7	29	39	58	133	-42.7	-28.1	-14.6
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	0	18	18	29	65	-50.0	-18.9	-31.1
③諫早	6	5	7	12	30	-5.6	-17.2	11.6
④大村	4	17	6	11	38	-7.4	31.8	-39.2
⑤島原	1	5	6	13	25	-41.7	-41.2	-0.5
⑥壱岐・対馬・五島	1	0	1	2	4	0.0	-25.0	25.0
全体	19	74	77	125	295	-34.1	-17.9	-16.2

#### 過去から今回までのDI値推移

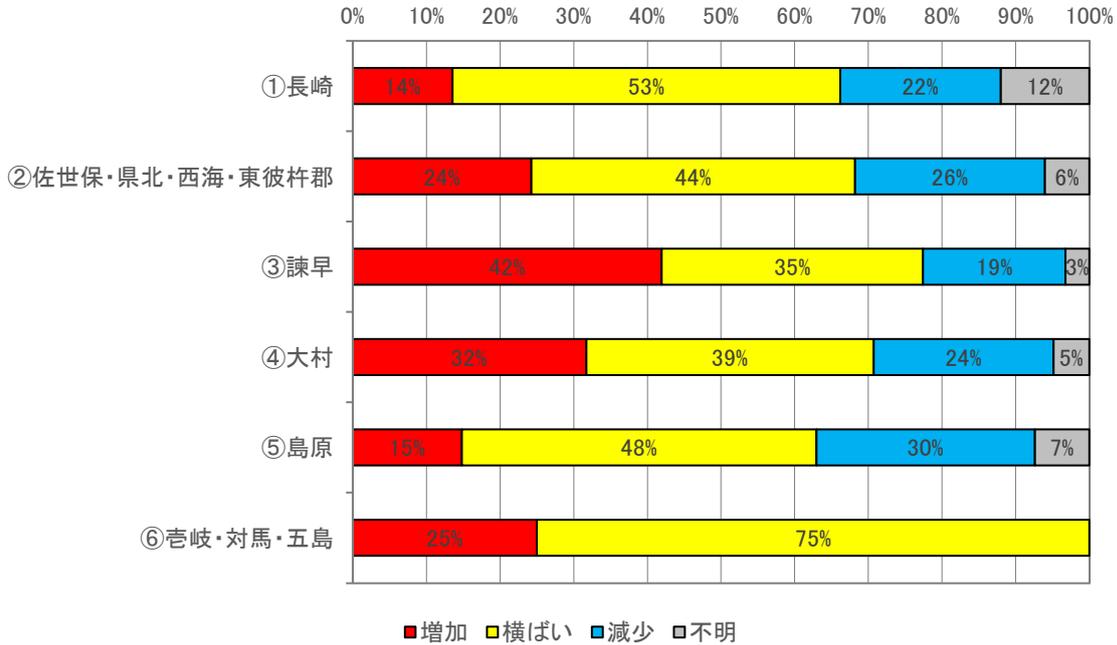
エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	-9.4	-12.1	-19.4	-19.1	-14.3	0.0	-28.1	-42.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-16.7	-6.5	-16.3	-8.9	4.5	-12.5	-18.9	-50.0
③諫早	8.3	-20.0	-10.0	7.7	14.3	30.0	-17.2	-5.6
④大村	12.5	0.0	10.0	43.5	28.0	25.0	31.8	-7.4
⑤島原	-40.0	-30.0	-71.4	-41.7	-7.1	-33.3	-41.2	-41.7
⑥壱岐・対馬・五島	0.0	0.0	-50.0	0.0	-66.7	-20.0	-25.0	0.0

【問5】

1年後（令和8年10月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数は、現在（令和7年10月1日）と比較してどうなると予想されますか。

予測

住宅地および戸建住宅取引



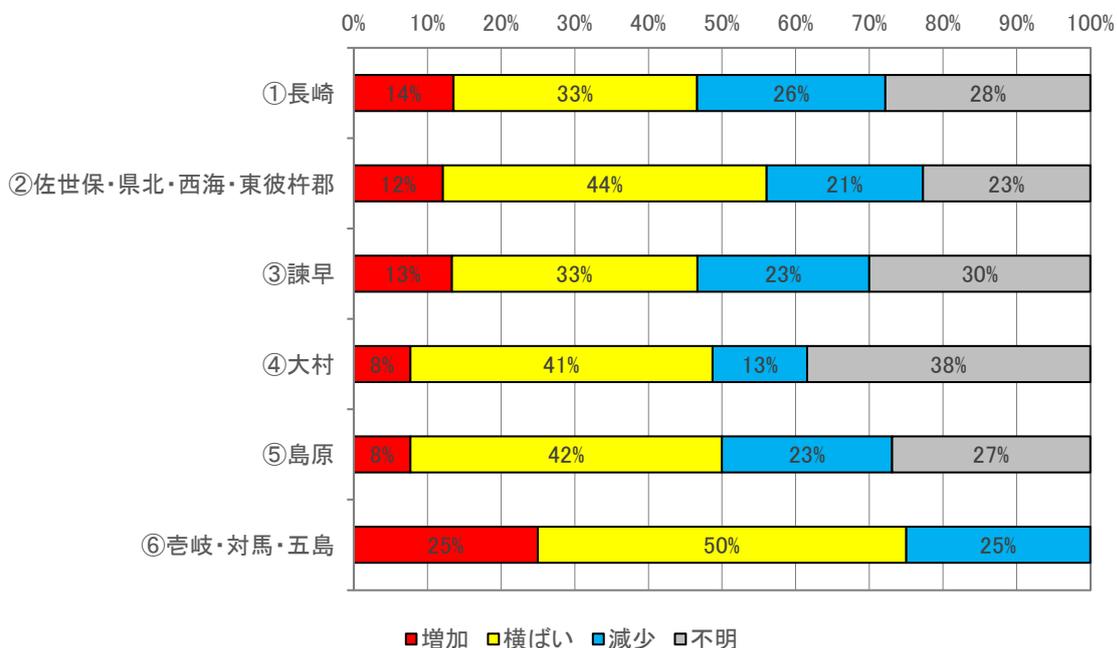
回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	18	70	29	16	133	-9.4	-10.6	1.2
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	16	29	17	4	66	-1.6	-9.4	7.8
③諫早	13	11	6	1	31	23.3	14.3	9.0
④大村	13	16	10	2	41	7.7	10.3	-2.6
⑤島原	4	13	8	2	27	-16.0	-23.1	7.1
⑥壱岐・対馬・五島	1	3	0	0	4	25.0	-55.6	80.6
全体	65	142	70	25	302	-1.8	-7.1	5.3

過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	-2.2	-13.4	-16.0	1.9	-9.2	-5.9	-10.6	-9.4
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	5.0	4.2	-12.2	7.8	9.5	-7.0	-9.4	-1.6
③諫早	5.0	4.7	-5.6	25.0	13.9	14.3	14.3	23.3
④大村	12.5	18.8	-28.9	5.9	13.9	12.9	10.3	7.7
⑤島原	-20.0	-31.6	-32.0	-20.0	8.0	-20.8	-23.1	-16.0
⑥壱岐・対馬・五島	11.1	-12.5	-37.5	16.7	-11.1	0.0	-55.6	25.0

### 商業地および投資物件取引



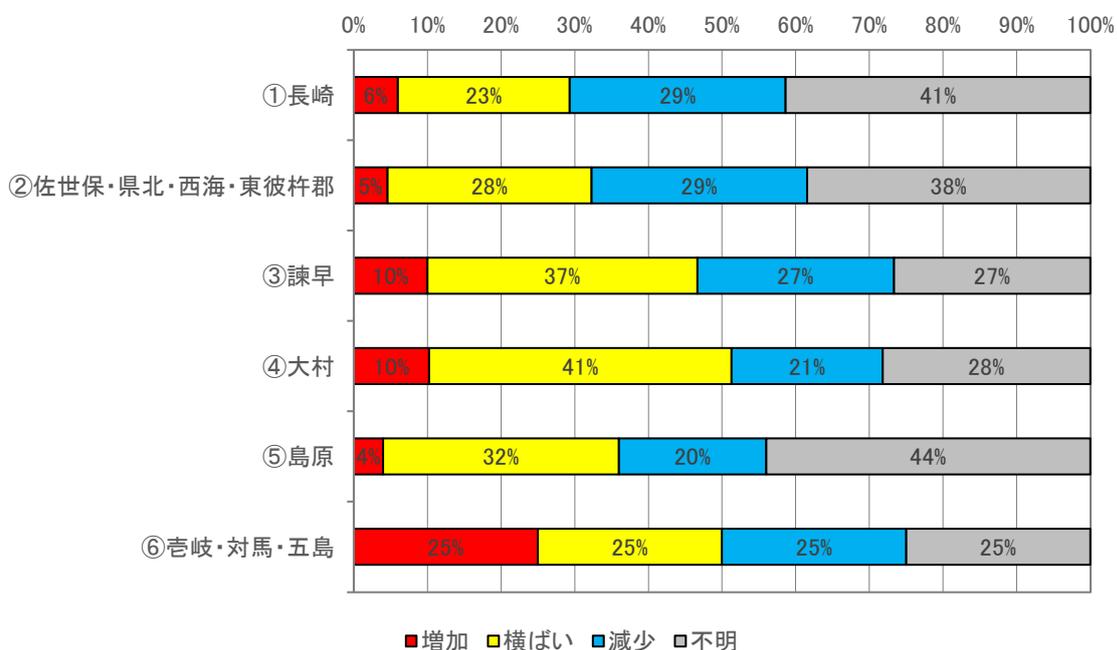
#### 回答数及びDI値

エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	18	44	34	37	133	-16.7	-11.1	-5.6
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	8	29	14	15	66	-11.8	-2.4	-9.4
③諫早	4	10	7	9	30	-14.3	0.0	-14.3
④大村	3	16	5	15	39	-8.3	-10.5	2.2
⑤島原	2	11	6	7	26	-21.1	-38.9	17.8
⑥壱岐・対馬・五島	1	2	1	0	4	0.0	-57.1	57.1
全体	36	112	67	83	298	-14.4	-11.8	-2.6

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	-14.4	-29.1	-25.5	-13.8	-12.6	-7.3	-11.1	-16.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-8.5	-19.6	-21.8	-30.0	-19.1	-14.8	-2.4	-11.8
③諫早	-6.9	-22.2	-16.7	-3.2	-8.3	12.5	0.0	-14.3
④大村	-14.3	0.0	-68.2	-26.3	7.4	4.2	-10.5	-8.3
⑤島原	-46.7	-57.1	-85.7	-44.4	-15.8	-42.1	-38.9	-21.1
⑥壱岐・対馬・五島	-14.3	0.0	-50.0	0.0	-71.4	-16.7	-57.1	0.0

### 分譲地またはマンション開発



#### 回答数及びDI値

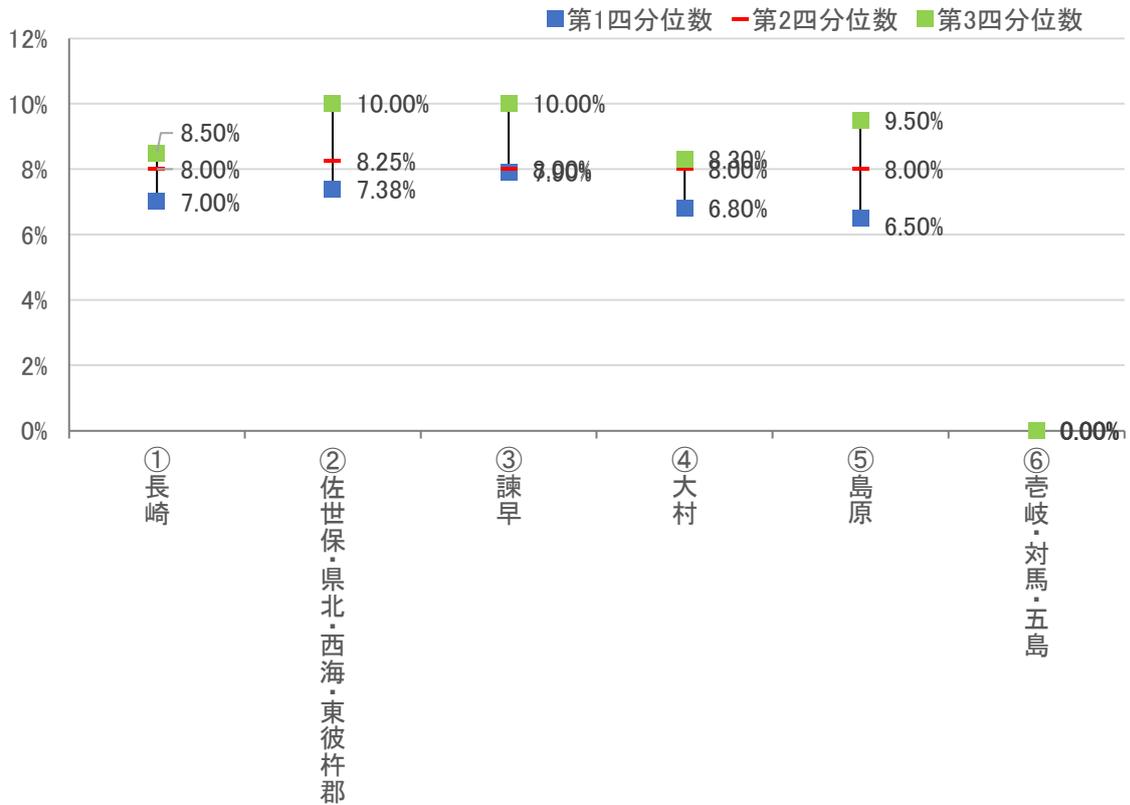
エリア	上昇	横ばい	下落	不明	回答数 合計	今回DI	前回DI	今回DI- 前回DI
①長崎	8	31	39	55	133	-39.7	-43.5	3.8
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	3	18	19	25	65	-40.0	-41.2	1.2
③諫早	3	11	8	8	30	-22.7	3.4	-26.1
④大村	4	16	8	11	39	-14.3	0.0	-14.3
⑤島原	1	8	5	11	25	-28.6	-43.8	15.2
⑥壱岐・対馬・五島	1	1	1	1	4	0.0	0.0	0.0
全体	20	85	80	111	296	-32.4	-28.7	-3.7

#### 過去から今回までのDI値推移

エリア	H30.6	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	-16.2	-12.5	-27.8	-20.5	-28.6	-15.9	-43.5	-39.7
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	-22.0	-8.7	-24.5	-17.4	9.5	-25.0	-41.2	-40.0
③諫早	20.0	-17.9	4.0	20.7	-16.0	22.6	3.4	-22.7
④大村	13.0	0.0	-28.0	12.5	0.0	20.8	0.0	-14.3
⑤島原	-40.0	-30.0	-50.0	-35.7	-7.1	-64.3	-43.8	-28.6
⑥壱岐・対馬・五島	0.0	0.0	-33.3	0.0	-66.7	-40.0	0.0	0.0

【問6】

築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの年間投資利回り（＝全室入居を前提とした年間賃料総収入÷物件成約価格）は平均何%位でしょうか。



エリア	第1四分位数	第2四分位数 (全データの中央値)	第3四分位数	回答数
①長崎	7.00%	8.00%	8.50%	31
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	7.38%	8.25%	10.00%	30
③諫早	7.90%	8.00%	10.00%	13
④大村	6.80%	8.00%	8.30%	19
⑤島原	6.50%	8.00%	9.50%	9
⑥壱岐・対馬・五島	算定不可	算定不可	算定不可	0

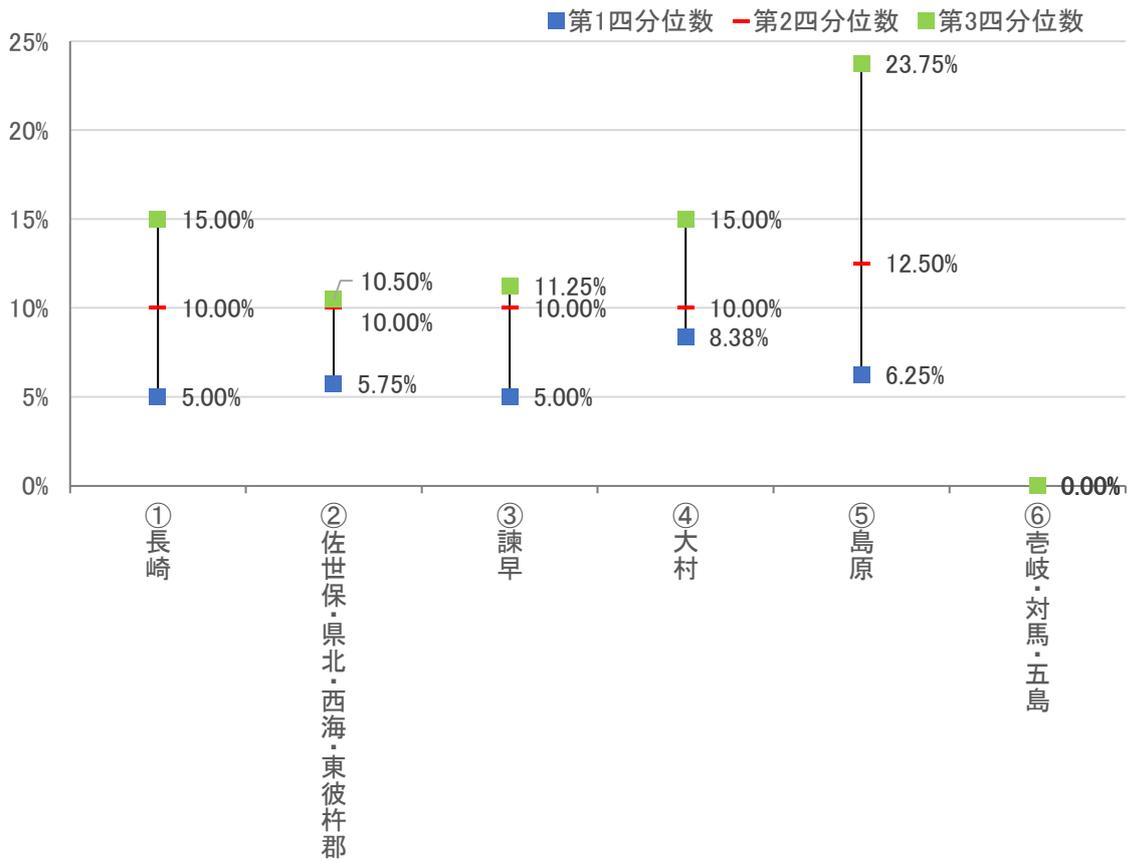
四分位数とは各データの値を大きさの順に並べたときに、4等分する位置の値をいう。小さい方から順に第1四分位数(第2四分位数より下のゾーンにおける中央値)、第2四分位数(全データにおける中央値)、第3四分位数(第2四分位数より上のゾーンにおける中央値)という。

過去から今回までの第2四分位数の推移

エリア	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	8.00%	8.00%	8.00%	8.00%	8.00%	8.00%	8.00%
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	8.50%	9.50%	8.00%	9.00%	8.50%	8.00%	8.25%
③諫早	9.00%	8.50%	8.50%	7.00%	8.00%	8.00%	8.00%
④大村	9.00%	8.10%	9.00%	8.00%	8.00%	7.00%	8.00%
⑤島原	8.50%	9.00%	8.00%	8.00%	8.00%	8.00%	8.00%
⑥壱岐・対馬・五島	15.00%	7.00%	9.25%	8.50%	7.00%	7.00%	算定不可

【問7】

築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの空室率は平均何%位でしょうか。



エリア	第1四分位数	第2四分位数 (全データの中央値)	第3四分位数	回答数
①長崎	5.00%	10.00%	15.00%	32
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	5.75%	10.00%	10.50%	26
③諫早	5.00%	10.00%	11.25%	10
④大村	8.38%	10.00%	15.00%	16
⑤島原	6.25%	12.50%	23.75%	8
⑥彦岐・対馬・五島	算定不可	算定不可	算定不可	0

四分位数とは各データの値を大きさの順に並べたときに、4等分する位置の値をいう。小さい方から順に第1四分位数(第2四分位数より下のゾーンにおける中央値)、第2四分位数(全データにおける中央値)、第3四分位数(第2四分位数より上のゾーンにおける中央値)という。

過去から今回までの第2四分位数の推移

エリア	R1.6	R2.10	R3.10	R4.10	R5.10	R6.10	R7.10
①長崎	12.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%	10.00%
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	6.00%	10.00%	10.00%	10.00%	9.10%	10.00%	10.00%
③諫早	10.00%	10.00%	10.00%	8.50%	10.00%	10.00%	10.00%
④大村	10.00%	10.00%	10.00%	5.00%	6.00%	10.00%	10.00%
⑤島原	9.50%	15.00%	10.00%	8.00%	5.00%	10.00%	12.50%
⑥彦岐・対馬・五島	5.00%	5.00%	3.25%	6.50%	5.00%	5.00%	算定不可

今回ご協力頂いた事業所一覧（順不同・承諾を頂いた事業所のみを掲載）

(株) アイエム
芦塚不動産(株)
(株) アスキーハウジング
(有) あすなる住宅
(株) アルバ不動産企画
イースマイル(株)
(株) エステイズ企画
N・S 不動産コンサルティング(株)
(株) A B C
嘉住庵
菊地不動産
(株) 協同ライフ長崎
(有) きよう土地建物
(有) k u r i y a
(株) ケンコーホーム
(株) 小林不動産
(株) 西海建設
(有) さかい住宅
(株) 昇陽不動産
(同) スエヨシ商会
スター不動産(株)
(株) そとわコーポレーション
(株) T M 不動産
寺田不動産(有)
デイリー不動産
田園都市(株)
東栄不動産(株)
(有) 長崎新光ガス
長崎住宅総合(株)
長崎大建不動産(株)
(株) ハウス D E C O
(有) ハウスプラン長崎
(有) 浜田不動産
(有) ひまわり不動産
ひろせ不動産
(株) ファミリー長崎支店
F o r e v e r E s t a t e (有)
フジイ住研(株)
不動産カドムラ企画
不動地所(有)
プラステート(株)
(有) マック
(有) 松本総合事務所
丸協不動産
(株) 三上住宅

宮川住研(株)
(有) 武蔵住宅
(株) メイク不動産
モアエステート
山口不動産(有)
(株) 山本不動産
ユー・エステート
(株) R I C C
(株) ルヴァン
(有) 愛光不動産
(株) アイホーム
(株) アウルエステート
(有) アサヒ土地建物
(株) あんしん住宅
大宮不動産
(株) 小川工務店
(有) カズバ不動産
(有) 木宮不動産商事
グローバル不動産
(有) 県北総合住宅
佐々不動産
(株) サム不動産
サンセール不動産
新日本不動産(株) 佐世保支店
(株) スカイホーム
(株) スカイホーム ミニミニ F C 佐世保大塔店
(株) 大成住宅
(株) ドアーズ
ハウジングオフィス天神
(株) バードハウジング
(株) プラム
(株) 山縣
(株) ユウキ
(有) ロン・ホーム企画
あおばエステート
アップルホーム(株)
(有) 駅前不動産
大村土地建物(株)
(株) 笠井建材店
かりん不動産
(有) 三城土地建物
(株) しおり不動産
(有) 十八不動産
(株) ナカシマ不動産大村支店
(株) 永尾開発

林住宅不動産
(有)馬場建設
(株)ミツワ不動産管理
(株)みどり住宅
ライツ不動産長崎(株)
(有)アート不動産流通
(株)後田建築
さきがけ不動産(株)
(株)伸工舎
ジスコ不動産(株)
第一総合不動産
(株)トータル
D o u b a r a 不動産
(株)ナカシマ不動産
(有)中野不動産
長崎住宅センター(株)
(有)堀川総本店
(株)ホームサポートながさき
マルエイ不動産(株)
吾妻不動産
(株)エステート・プラス
Kワークス開発
(株)三長不動産
第一不動産(株)
(有)ティーエス不動産企画
(有)長崎不動産
(株)林田工務店
北武不動産(株)
(株)ホンダ不動産
(同)ホームインデックス不動産
(同)ライフプラン不動産
壱岐不動産(株)
(株)中村興産
(株)I・K・M
(株)インベスト
オーナーズS t y l e
(有)谷川建築
長崎西海移住定住サポートセンター
アースコンサル(有)
(有)キャプテン西九州
(株)第百不動産
(一社)ザ・ホームホールディングス
(株)サン晃住環境システム
(有)ナイスホーム
(株)アトリエ・プランニング

田中建設産業(株)
ひまわり不動産(有)

自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

地区	意見
長崎	不動産投資物件を投資家（外国人含む）が購入し価格が上昇。 その影響を受けて地方の価格も上がっている。
長崎	・ある銀行では、金利の上昇（長期、短期）に伴い、審査基準（事業ローン）が厳しくなりました。 ・金利の上昇に伴い、住宅の着工、販売戸数が昨年度と比べ、3割～4割減少しているのではないかとの話です（工務店、住宅メーカーさんより）。
長崎	平地の価格が希少のため、より高くなっている。 住宅価格高騰により、中古価格も上がっている。 住宅ローン金利上昇により、より慎重になっている様子。
長崎	人口減少に起因する1人世帯の増加、高齢化の進展、その結果としての空家の増加が顕著に進行していると思います。
長崎	中心部の商業地は底堅く、再開発や商業集積の強さが反映されていると感じます。
長崎	駅前などの商業地は、依然、高値を維持しているが、上昇傾向とはいえない状況。 住宅地は、一時の勢いはなく高い価格だと苦戦しそう。 マンションもピークアウトしており、無難な価格帯となってきた印象を持つ。
長崎	空き家を相続した後、持て余してしまい、処分に困っている方からの相談が増えているように感じますが、思い入れが強いのか、思ったより評価が低かったり低廉な物件に係る仲介手数料を説明したりすると連絡もそれっきりになる事も多々あります。当社の説明不足やアプローチの不備もあると思います。成功報酬なので取りかかりの資料を集めたりした分の費用を請求出来ないのが困る事があります。
長崎	不特定大多数の高齢化、三菱重工の不振化に伴い若者の勤務する受皿企業の減少が感じられる傾向に併せ人口密度の減少に比例して不況情勢に思われてならない。
長崎	人口減少の割に分譲マンションが多く建っている。
長崎	物価高、金利の上昇により不動産市況はこれまでに見ない程に冷え込んでいる。 まちづくりの根本から真剣に考え直さないと、長崎の未来は非常に暗いものになると思います。
長崎	新築分譲マンションの販売が振るわず各デベロッパーが在庫を多数抱えている。新規の開発も止まり、商業地の取引が下落していると感じる。
長崎	長崎市における市街化調整区域の緩和をどうにかできないかいつも考えている。過疎化が進む中、田舎に住みたいというヒトもいる。その架橋となるような仕事をしたい。
長崎	コロナ禍も明け、個人事業を始めようとする動きが徐々に出てきているように感じられる。個人力、そして地域力で今の情勢を乗り越えていければと期待。（今年は地域の夏まつりをよく目にすることができ、賑わいのありがたさをふと実感しました。）
長崎	銀行融資（地方銀行）がしぶくて大変です。
長崎	このアンケートを、Googleフォームに変更することを検討されてはいかがでしょうか？ 無料かつ使いやすいです。
長崎	長崎駅前の再開発の効果もだんだん形に表れて、公共交通の流れもだんだんスムーズになり観光客も増加すると思います。 長崎スタジアムシティが開業し、今後の企画努力が試されて、効果が期待したい。 建築コストが増加している。資材高騰と人材不足で、また金利も上昇してきていて新築物件が少なくなる。
長崎	長崎市南部においては、階段有りの土地や戸建の売買の問い合わせは特段に少なく、新築用土地についても、人気土地と不人気土地の問い合わせは極端な差になってきております。
長崎	大都市圏では、賃料アップの動きが多々散見されますが、長崎地区ではまだみられない。 マンションが供給過剰の状況で、3年から4年の需給調整の時間を要し、分譲価格の下落とそれに伴う地価の下落がみられると思う。
長崎	分譲マンションが供給過多の状態にあり、未販売住戸（在庫）があふれ、デベロッパーによっては値引き販売が始まっている様子。新築、中古ともに価格崩壊が懸念される。

自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

地区	意見
長崎	分譲マンションの完成在庫が増加しており、供給過多の状況が続いている。県外大手のデベロッパーが取得した用地が開発中止になるケースが増えており、中心部においても土地の価格が下落してくるものと思われる。
長崎	長崎の不動産を欲しいと思えないのが悲しい。路面電車通りでも空地や駐車場が目立つが、取得してじゃあなにをすとなつた場合、採算が合わないのでは動けない。何かが出来たら何かはなくなる。結局のところ人口が増えないと解決しないことだと思う。長崎駅前再開発については駅を整備するのは必要なことだが、使い勝手が悪く半端な印象しかない。
長崎	建築費の高騰により、土地を購入しマイホームを建築するという消費者のマインドが希薄に成って来ており、令和6年秋口頃から売買市場が冷え切っている。 国外からの需要に頼っていた観光業界は限界を迎えた感があり、このままでは地域経済は打開されることがない閉塞感が増すばかりである。 さしあたって、佐賀県と合併し西九州新幹線のフル規格化を目指したらどうだろう。
長崎	マンション分譲業者の撤退など、土地の売買で非常に苦戦しております。 良い土地が売りに出ても、買い手が付きにくい状況です。
長崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リフォームするのに、材料代が2倍近く上がっているので購入価格で調整するため、下落及び横ばい。</li> <li>・イベント時に駐車場が少ない為、混雑が半端でない。</li> <li>・水辺の森の駐車場は特に機械が故障してすぐ対応しないので困る。</li> <li>・今から長崎も都会並になって来てるので楽しみです。特に駅周辺です。</li> </ul>
長崎	長崎の人口減少の歯止効果はなく、従って年々需要と供給のバランスが不動産市場に於いても崩れつつある。定着人口増が喫緊の課題である。
長崎	入居者より退去者が多い＝人口減を感じる
長崎	今後、外国人居住者が増加すると予想されますが、特定の地域のスラム化を防ぐために、長崎のどの地域でも外国人が住み易いように整備していく必要があると思います。それを実現していけるのは、僕らの業界の努力は不可欠だと思います。
長崎	古い中古住宅をもっと活用できる施策があってもいいのではないかと考えます。
長崎	事業用、住宅ローンともに金利の変動の影響が不透明で見通しが立て辛い状況。 投資アパートが乱立してる地域の収益悪化から、金融機関の引き締めが心配（事業計画と現実の収支に乖離がある先が増加してる印象）
長崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年4月以降完成の新築分譲マンションは売れ残りが目立つ。平坦地・商業地はマンション用地需要が相場を牽引していたが、先行不透明。</li> <li>・昨年末～中国の渡航自粛によりインバウンド需要の見極め要。</li> <li>・賃貸居住用は、人口減少・物価高の影響で動きが鈍い。</li> </ul>
長崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジャパネットのスタジアムシティの効果有。</li> <li>・長崎駅～浜口町までのエリアはテナント、住居共に入居率が高い。</li> <li>・ニュータウン（ダイヤランド、小江原、矢上など）価格が下落。今後バス便減少によりもっと下がると思われる。</li> </ul>
長崎	長崎市傾斜地の活用 放置空室に対する活用する為の行政の姿勢が必要
長崎	建築費高騰による買い控えや金利上昇にて建築意欲の低下が今後懸念される。
佐世保	人口減少により、取引件数は長い目で見ると減少していくと考えている。 また空家の増加と相続により売物件は徐々に増加していくと考えている。 外国人居住者の増加により低家賃の賃貸物件の契約件数は増加し、日本人の賃貸契約件数は横ばいに推移するものを見込んでいる。
佐世保	仲介手数料の見直し以降、車が進入できない物件を取り扱う業者が増加したように思う
佐世保	例年に比べ本年度は特に取引件数が少なく今後も厳しい状況は続くと思います。
佐世保	優良住宅地の不足と建築資材など的高騰で新築物件の価格が高騰している。中古マンション・一戸建ては中心部は高値で郊外地では多様な価格帯で取引されていますが、空き家問題の顕在化により、深刻な問題になりつつある。

自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

地区	意見
佐世保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少は肌身で感じます。</li> <li>・外国人労働者が増えてます。</li> <li>・アンケートはWEB上で行った方が良い。FAXだと手間が増える。</li> </ul>
佐世保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資材等の高騰により、新築物件の価格が上がっている。</li> <li>・反響、成約数から見ても、需要の漸減を感じる。人口減の影響もあると思う。</li> </ul>
佐世保	人口減少の影響 建築資材の高騰 相続財産の処分（相続人が県外の為）
佐世保	分譲地土地価格及び新築賃貸アパート、マンションの賃料価格は物価上昇（人件費を含む）により上昇傾向にあるが、既存物件の土地価格、賃貸の賃料については現時点では横ばい、もしくは若干の下落傾向にある。 新築分譲マンションについては、まだ若干の需要はあると思われるが、価格高騰を受け今後は新規建築は難しいものと思われる。
佐世保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新築アパート、マンションの建設が増加しているため、築古物件と比較して家賃の二極化が進むのではないか。</li> <li>・土地は開発された造成地が増えるが、建設費の上昇で新築は頭打ち、建築基準法改正によるリフォーム（大規模修繕）についても確認申請が必要になったが、新築よりは建設費を抑えられるので、今後は中古住宅の売買が増えるのではないかと思う。</li> </ul>
佐世保	佐々町のみ上昇。他は横ばい、下落。 新築需要が減少していると思う。
佐世保	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 佐世保市内経済を牽引する支援がなく</li> <li>2. 政治（議員）を先生と呼ぶが議員はすべての代表である。</li> <li>3. 議員はあぐらをかいている。</li> </ol>
佐世保	市内の所得が上がらない内で、建築価格の上昇や立地と適正化計画、宅造規制、人口減少など、一般住宅に大きく影響が出ている。 特に、長崎市、佐世保市など平地が少ない地域での空き家は行政を加えた取組が必要と考えます。
佐世保	オーナーチェンジがスムーズにいくような、提案冊子があるといいと思います（親子）。
佐世保	県北地区におけるインパクトある出来事が県南と比べ少なく今後の知事選に注目しています。
佐世保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何百円かの休眠抵当権を外すのに裁判までしなければいけない状況はおかしいと思う。</li> <li>・認知症の所有者でも健全に売買できるようになってほしい。</li> <li>・空き家問題を解決するなら、流通しやすいようなしくみをつくってほしい。</li> </ul>
諫早	諫早市は大型商業施設、工業団地増設に伴い、工場の稼働等でここ1～2年は労働人口増となりそうです。 その結果、宅地分譲、アパート新設が行われる見込。 土地の価格は上昇している。
諫早	諫早市で市街化調整区域撤廃の動きがありますが、市街化調整区域がなくなれば、宅地造成が増えてくると思いますので、取引が活発化することを期待しています。
諫早	諫早市における市街化区域の非線引きが早く進めば、宅地取引が活発になりそう。 諫早市内で新築戸建てを建てたいが、土地がなく大村市や雲仙市へ流れている方もいらっしやる印象です。
諫早	建築費高騰及び金利上昇により土地売買の減少
諫早	諫早市近郊において誘致企業の開業を見越して、単身者用の賃貸物件が供給過多の状況で、新築物件でも問合わせ、案内等も少なく、誘致企業が開業したとしても現在の状況は続くものと思われ、単身者用物件は入居者の取り合い、賃料の値下げ合戦が始まるものと思われる。
諫早	諫早市内の賃貸アパート・マンションの建設が進み供給過剰の為既存の賃貸物件の空室率が下がらない。

自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

地区	意見
諫早	諫早ゆめタウン計画が進むことを切に願います！ 住宅賃料、空室状況にも影響します。 今年は退去が極端に少なかったので、来年は増えるのではと思います。
諫早	○今年初頭からアパート新築が増加したのに、京セラ、ユメタウンの工事（開業）が遅れたため、空室が急激に増加。 ○中古物件も4月以降空室がなかなか埋まらない傾向にある。 ○法改正により、盛土切土ができるひな段土地が売れない状況になった。
大村	・地価の上昇、原材料の高騰、職人不足など、全体的な価格の上昇トレンドにあるが、地方都市まではその恩恵を受けられるほどの材料が少ない。 今後の金利上昇や政策の方向で、予想のしづらい市況となっている。 ・転売規制や外国人の不動産購入規制の導入が始まるとどう影響がでるのかは注視したい。
大村	賃貸取引の減少、空室をへらすために業者間取引を積極的に増やすために貸主から手数料1ヶ月、借主から1ヶ月分手数料を早期実現してほしいです。
大村	2022年に西九州新幹線が開業し、交通アクセスが良くなったことで、特に「新大村駅」周辺の利便性が大幅に向上し、これにより土地需要が高まり、地価の上昇につながり、特に新大村駅近くの植松3丁目を中心として住宅地の上昇率が際立っている。
大村	市外、県外からの業者の参入が多く、いまだに開発が多くされている。 しかし、建築条件付の土地の販売状況が芳しくなく、新築建売なども供給過多かと思われる。 今後、不動産の価格下落があるのではないかと予想している。
大村	近年宅地分譲が小規模になりつつあり、開発業者が手をつけられない素地の土地がアパート用地として利用されているのをよく見かけるが、賃貸住宅（特に単身）は、数年前より飽和状態であり、新築時でも満室をあまり見かけない。 大村市は人口増といえど微増であり、このペースでアパートが建築されても、空室に悩むオーナーを増やすだけではないかと思われる。
大村	大村市の土地価格の上昇にエンドユーザーがついてきていない気がする。
大村	大村市内での土地開発、建売分譲は、市外、県外の業者によるものが大半である。
大村	建築を予定している方は多いと思います（問い合わせが多い）。建築条件付の土地が多いので成約はむずかしいです。分譲地はまだまだ予定がありそうで楽しみです。来年も土地、建物の売買は横ばいで順調に推移していくと考えています。土地の価格は上限に近い気がする。
大村	・資材高騰の折り、建築費も上がり、住宅の購入のお客様が減少する傾向が見える。 ・宅地開発をするにもしっかりと場所その他、検討を重ねて行かないと危険を伴うことになる。
大村	人口減の県内でも数少ない人口増を続けている大村。ネットアンケートでは住みやすい街、子育てしやすい街ということで全国でも上位であることが紹介されていて、住まいに関する需要についてしばらくは大きな落ち込みはないのではと思われる。 それに伴い地価なども年々上がっているようだが、少しバブル気味なところもあり、また金利の上昇や資材高騰の高止まりなどで手を出しにくい状況になってきているので、今後も一律右肩上がりになれるのかが気になる。
大村	建築費高いのが気になります。 金利の上昇も買えひかえのような気がします。 若年層の購買意欲が高められればいいですね。
島原	人口減少の影響がかなり続いていくのではないかと。 空家の増加がひどく賃貸・売却物件として有効活用していく方向を希望されている方が多い。
島原	人口減少、未婚者の増加
島原	諫早～島原間の自動車道の完成が待ち望まれる。つまり、人々の往来増が期待できるからです。

自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

地区	意見
島原	<p>近隣の諫早市に大型商業施設や工業団地増設など人口が増加する予測ばかりが先行し、実体経済が無いままに投資用物件が増えすぎている。賃貸住宅も新築から入居者が決まらず空室が目立ち始めている。新規分譲地も近年の住宅価格高騰により売れ行きが悪い感じがする。景気や物価高を調整する政策金利の引き上げで住宅ローン金利も上がり、返済額が増えることにより新築のマイホーム需要が減少していくと予測される。</p>
島原	<p>急速な人口減少と高齢化がすすみ、出生率も下がっています。                      高校を卒業したら他県の学校、就職して行きます。                      島原半島で可能な会社を代議士の先生、関東の県人会、OBの力で関連の下請会社でも誘致の努力をしてほしい。                      半島は20～30年で消滅するのでは。</p>
島原	<p>本年度は、賃貸シーズン（繁忙期）の動きが、例年より鈍い傾向でした。                      土地建物の売買については、県外からの移住を希望され土地若しくは中古住宅付きの案件が、増加致しました。                      令和8年度も、相続案件の売却が増えるものと思われませんが、建築資材・人件費高騰・金利上昇に伴い、土地購入、新築住宅の需要が鈍るのではないかと、懸念しております。</p>
島原	<p>プラス要因は見当たらない。マイナス要因はたくさんある。                      少ないお客さんを大切に、守りを固めるしかないかな。</p>

## 長崎県の不動産市況動向（DI）に関するアンケート調査票

（第 1 1 回 令和 7 年 12 月実施）

◆問 1：最も取扱件数の多い所を A 欄から 1 つ選択 のうえ地区名の数字に○を付けて下さい。

※鉛筆での記入は回収時に文字が読み取りづらいため、ボールペン又はサインペン等でご記入願います。

地区名	A 欄
①長崎	長崎市・長与町・時津町
②佐世保・県北・西海・東彼杵郡	佐世保市・平戸市・松浦市・西海市・波佐見町・川棚町・東彼杵町・佐々町
③諫早	諫早市
④大村	大村市
⑤島原	島原市・雲仙市・南島原市
⑥壱岐・対馬・五島	五島市・壱岐市・対馬市・新上五島町・小値賀町

※ご回答者様の所属支部、商号をご記入ください

所属 支部	商号

以下の質問は、問 1 で回答された市区町（A 欄）の状況について、日々の業務で感じる相場観にてご回答下さい。 なお、業務上取り扱いがない項目については不明を選択してください。

◆問 2：現在（令和 7 年 10 月 1 日）の土地価格及び賃料の動向について、1 年前（令和 6 年 10 月 1 日）と比較してどのように感じておられますか。

- |            |     |      |     |     |
|------------|-----|------|-----|-----|
| 住宅地（平坦地）価格 | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 住宅地（斜面地）価格 | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 商業地価格      | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 中古マンション価格  | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 住宅賃料       | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 店舗・事務所賃料   | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |

◆問 3：1 年後（令和 8 年 10 月 1 日）の土地価格及び賃料の動向は、現在（令和 7 年 10 月 1 日）と比較してどうなると予想されますか。

- |            |     |      |     |     |
|------------|-----|------|-----|-----|
| 住宅地（平坦地）価格 | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 住宅地（斜面地）価格 | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 商業地価格      | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 中古マンション価格  | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 住宅賃料       | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |
| 店舗・事務所賃料   | ①上昇 | ②横ばい | ③下落 | ④不明 |

→次ページへ続く

◆問4：現在（令和7年10月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数は、1年前（令和6年10月1日）と比較してどうなっていますか。

住宅地および戸建住宅取引————①増加      ②横ばい      ③減少      ④不明  
商業地および投資物件取引————①増加      ②横ばい      ③減少      ④不明  
分譲地またはマンション開発————①増加      ②横ばい      ③減少      ④不明

◆問5：1年後（令和8年10月1日）の貴社の取扱件数及び開発件数は、現在（令和7年10月1日）と比較してどうなると予想されますか。

住宅地および戸建住宅取引————①増加      ②横ばい      ③減少      ④不明  
商業地および投資物件取引————①増加      ②横ばい      ③減少      ④不明  
分譲地またはマンション開発————①増加      ②横ばい      ③減少      ④不明

◆問6：築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの年間投資利回り（＝全室入居を前提とした年間賃料総収入÷物件成約価格）は平均何%位でしょうか。

① \_\_\_\_\_%（小数点以下第1位までの表記でお願いいたします。例8.5%）      ②不明

◆問7：築10年程度で立地条件普通の投資用アパートまたはマンションの空室率は平均何%位でしょうか。

① \_\_\_\_\_%（小数点以下第1位までの表記でお願いいたします。例10.0%）      ②不明

◆問8：調査結果の冊子（インターネットでも公表）に調査協力業者名の一覧を掲載しておりますが、貴社の社名の掲載を希望されますか。

①希望する      ②希望しない

◆問9：自由意見欄（不動産市況等について自由にご意見をお書き下さい）

例：長崎駅前再開発の効果、観光客の増減、人口減少の影響・・・等

※自由意見欄にお書き頂いた内容は、匿名にて冊子に掲載させていただきますのでご了承ください。

以上で質問は終わりです。御協力ありがとうございました。ご回答内容は集計データに反映させていただきますが、個々の会社様のご回答内容を公表するものではありません。ご回答頂いた業者様には集計データの冊子（自由意見欄を含む）を長崎県不動産鑑定士協会より送付いたします。